

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新規制基準適合性  
審査に関する事業者ヒアリング(118)、(151)」

2. 日時：令和4年4月4日（月）16時00分～18時20分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、  
海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究  
調査官、磯田係員、松末技術参与、道口主任技術研究調査官

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員

中川原子力土建部長 他12名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち歴史記録及び津波堆積物に関する調査について（コメント回答）
- ・ 浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち歴史記録及び津波堆積物に関する調査について（補足説明資料）
- ・ 審査資料の品質確認について

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	本日のヒアリングは、浜岡発電所基準津波策定後歴史記録及び津波堆積物に関する調査のコメント回答のヒアリングと、
0:00:09	あともう1点、審査資料の品質確認についての資料についてのヒアリングを行います。
0:00:16	それでは中部電力の方より説明をお願いいたします。
0:00:22	はい。中電力の仲川でございます。年度が変わりましてですね、引き続き審査の方、よろしくお願いいたします。
0:00:30	私どもの方はレンド変わっても引き続き、同じメンバーで、私が天野グループ長、以下で説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。
0:00:45	中部電力浜野です。それでは浜岡原子力発電所基準津波の策定のうち歴史記録及び津波堆積物に関する調査につきまして、
0:00:55	昨年12月17日、第1020回審査会合でいただきましたご指摘事項について
0:01:05	回答を用意して参りましたので、説明をさせていただきたいと思えます。
0:01:10	説明時間はおよそ20分程度になります。よろしくお願いいたします。
0:01:16	中部電力、西村です。
0:01:18	歴史記録及び津波堆積物に関する調査について、前回会合からの修正点を中心にご説明いたします
0:01:25	3ページは、前回会合におけるコメント一覧表です。
0:01:30	No.1。
0:01:31	文献により示されている演習など沿岸域の津波堆積物について、堆積年代を整理して示すこと。
0:01:38	No.2 敷地のイベント堆積物が分布する上限標高について、文章に基づき示すこととなります。
0:01:46	まずNo.1コメントについてご説明いたします。
0:01:49	14ページをお願いいたします。
0:01:58	こちらは津波堆積物に関する文献調査として、演習など沿岸域の津波堆積物に関する文献調査結果を表にお示ししています。
0:02:07	今回No.1コメントとして、文献により示されている演習など沿岸域の津波堆積物について、堆積年代を整理して示すことというご指摘を受け、各地点で確認されている。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:18	津波堆積物の年代を表の右端に追記いたしました。
0:02:23	1字は最上位層の年代を表しております。
0:02:28	続いて、No.2 コメントの回答になります。
0:02:31	21 ページをお願いいたします。
0:02:41	前回会合でのコメントを踏まえ、前回までにご説明した、1.3. 一章の津波堆積物調査に加え、
0:02:49	1.3. 二章に示す詳細分析を実施し、
0:02:52	敷地のイベント堆積物が分布する上限標高について検討いたしました。
0:02:57	22 ページは、調査の全体概要についてです。
0:03:02	上の箱書き。
0:03:04	従来は、演習など沿岸域では、3 から 4 メートル程度の浜堤を大きく超えて広域に分布する巨大な津波を示す津波堆積物は確認されず、
0:03:13	津波の規模が時代によって顕著には変わらない結果が見られていることを踏まえ、
0:03:18	巨大津波の見逃しを防ぐために、敷地周辺の津波堆積物調査を実施し、
0:03:24	コア観察により、フロー図の上段左側に赤字で示しております、①から③の観点から、イベント堆積物かどうかを評価してございました。
0:03:35	三つの観点のうち、②の平面的な分布、③の供給元については、下の括弧書きの通り、
0:03:42	保守的な評価を行ってございました。
0:03:45	②の平面的な分布は、海側から連続するかどうかの観点ですが、層相が異なっても不精査直下に分布する地層は連続するものとして評価してございました。
0:03:57	また、③の供給元は観察により、海陸起源の判別が行えない地層については、海から今日海からの供給を否定できないとして評価してございました。
0:04:09	上の箱書き 2 ポツ目。
0:04:11	今回、敷地のイベント堆積物が分布する上限標高について物証に基づき、示すこととのコメントを踏まえ、
0:04:18	敷地のイベント堆積物を検討対象とした詳細分析を実施し、
0:04:23	面的な分布の把握、地層区分やイベント堆積物の連続性について精査を行い、
0:04:29	さらに、海から連続しない可能性があるイベント堆積物については、大陸起源の判別に有効とされる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:36	C N - S 分析によって供給元を検討することで、
0:04:40	②及び③を正確に評価いたしました。
0:04:44	その結果獲られた、海起源のイベント堆積物が分布する上限標高を評価いたしました。
0:04:50	24 ページからは、前回資料の再掲で、
0:04:53	34 ページからは、今回実施した調整分析についてです。
0:04:58	従来のイベント堆積物と評価した堆積物を分析対象としています。
0:05:04	35 ページは、調製分析の概要になります。
0:05:11	表には、調査目的と項目を整理しております。
0:05:15	平面的な分布に関するデータ拡充については、二つ実施しております。
0:05:20	まず一つ目は、面的な分布の把握を目的として、
0:05:23	従来イベント堆積物が分布するとしていた範囲の端部周辺で、追加ボーリングを実施し、
0:05:29	二つ目は、地層区分や、
0:05:32	イベント堆積物の連続性の精査を目的として、C T 画像観察、放射性炭素年代分析を実施いたしました。
0:05:41	供給元に関するデータ拡充については、
0:05:44	イベント堆積物の海陸起源判別の構成。
0:05:48	ええ。
0:05:51	すいません。失礼しました。
0:05:53	供給元に関するデータ拡充については、イベント堆積物の管理基準判別の高精度化を目的として、C N - S 分析を実施いたしました。
0:06:03	評価の方針を下の箱書きに示しております。
0:06:07	追加ボーリング、既往の層相観察、年代分析結果等を踏まえて、従来一括地、一括して区分していたベース堆積物を再区分します。
0:06:18	さらに貝化石や海成力を含む、海起源のイベント堆積物を起点として、イベント堆積物の連続性を、詳細分析結果をもとに精査し、
0:06:28	起点となる堆積物から連続していることが確認できるものを、津波起因の可能性が否定できない。
0:06:34	堆積物として、海起源のイベント堆積物と評価いたします。
0:06:38	また、海から、
0:06:40	連続しない可能性があるイベント堆積物については、C N - S 分析により、供給元を正確に把握し、
0:06:47	海起源と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:49	本別されるものについても、
0:06:51	見切りのイベント堆積物と評価いたします。
0:06:55	敷地西側及び東側の海起源のイベント堆積物の分布範囲を把握し、その最大標高を敷地に分布する海起源のイベント堆積物の上限標高として評価いたします。
0:07:07	なお、箱書きの下の注釈の通り、海起源のイベント堆積物には、高潮など、津波以外の海起源の堆積物も含めて評価いたします。
0:07:16	36 ページは、追加ボーリングについてです。
0:07:21	今回追加したボーリングを、
0:07:23	下図に青字で示しております。
0:07:27	箱書き 2 ポツ目、敷地西側では、敷地 18 からタニ沿いに標高が上がる方向に敷地 21 を、
0:07:35	敷地 19 からタニを横断する方向に敷地 20 を追加いたしました。
0:07:41	敷地東側も同様に、タニの延長部に敷地 22 号タニの横断方向に敷地 23 と 24 を追加いたしました。
0:07:50	成果ボーリングの結果は、補足説明資料、長さ 7 章の 140 ページ以降に示しております。
0:07:58	37 ページは、調査結果になります。
0:08:01	敷地西側と敷地東側について、詳細分析結果をそれぞれ記載しておりますが、
0:08:08	その内容については、補足説明資料にて説明させていただきます。
0:08:13	補足説明資料 149 ページをお願いいたします。
0:08:32	敷地西側のボーリング調査地点と地質断面図になります。
0:08:37	右側がタニに沿った縦断図で、左側が横断図になります。
0:08:42	敷地 21、20 と 21 が今回追加したボーリングになります。
0:08:47	従来は、調査地域の地層区分を甲斐より、
0:08:51	基盤提出堆積物、布施里、区分しておりました。
0:08:55	このうち、D種堆積物について、細かく区分し、箱書きの通り、層相観察結果や年代分析結果から、下位より、
0:09:04	基盤、
0:09:05	利益相反力シルト層、
0:09:07	シルト層、腐植質シルト層、布施砂層等区分いたしました。
0:09:13	このうち腐植質シルト層は、不精査直下にほぼ連続して分布しており、
0:09:17	放射性炭素年代分析結果からはそれらが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:21	4800 カルビー C から 3000 から B C という演題替えられております。
0:09:26	この年代は、高海面期直後の年齢を示しており、
0:09:29	海面上昇期から高海面期にかけて堆積したと考えられる内湾堆積物の上位に位置することと整合しております。
0:09:38	イベント堆積物は、主に下の図の紫で示す腐食する主食質シルト層に挟まれています。
0:09:47	152 ページは、イベント堆積物の連続性についてです。
0:09:56	この写真、C T 画像、年代分析、帯磁率の結果を並べて示しております。
0:10:02	赤のりを矢印で示した範囲がイベント堆積物で、
0:10:06	W9-②、
0:10:07	W15-④。
0:10:09	W14-05W18-③が該当いたします。
0:10:15	W19-③は、W18-③と似ているとご指摘を受けた地層になります。
0:10:21	敷地 20 及び 21 は、追加ボーリングでして、イベント堆積物が挟まれる。
0:10:27	腐植質シルト層、先ほど紫で示した地層と同層準の地層を示しております。
0:10:33	これらの地層について下端をそろえて並べております。
0:10:40	福崎 2 ポツ目ですが、従来の層相観察によりカイダ石を含むことから、海起源のイベント堆積物と評価される W9-②を起点とし、
0:10:49	陸側に位置するボーリングコアに対し、W9-②と同様の層相の有無を確認し、
0:10:55	陸側への連続性について評価いたしました。
0:10:59	C T 画像によって確認したところ、W15-④より陸側のイベント堆積物は、
0:11:05	W9-2 と同様に腐植質シルト層の履歴を含むが、
0:11:10	W9-②に見られるような解化石が認められないことを確認いたしました。
0:11:15	また、W9-②はれき質であるが、W14-05 や W18 の③は、シルト質であり、層相が異なることを確認いたしました。
0:11:26	4 ポツ目、敷地 20 及び敷地 21 で実施した追加ボーリングの結果、既往ボーリングにおいて、イベント堆積物が挟まれる腐植質するシルト層と同層準の地層が獲られており、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:39	この観察及びC T画像観察によって、イベント堆積物は認められないこと。
0:11:45	W9-②に見られるかい化石が含まれないことを確認いたしました。
0:11:52	5 ポツ目。
0:11:53	W9-③とW18-③とか似ているとのご指摘について、
0:11:57	C T画像による比較を行った結果、
0:12:00	W9-③には層理が認められるのに対し、
0:12:03	W18-③には認められず、
0:12:06	層相が異なることから、岩内層が連続しないことを確認いたしました。
0:12:11	また、W9W19-③に、
0:12:15	W9に見られるような化石が認められないことも確認いたしました。
0:12:20	155 ページは、イベント堆積物の年代評価結果です。
0:12:28	下の左のグラフが敷地西側の結果になります。
0:12:33	W9-②を基準として、堆積年代を比較すると、
0:12:37	W15-04W14-05W19-03 は、W9-②と年代が異なり、連続しない可能性が考えられます。
0:12:47	一方、W18 の③は、W9-②と年堆積年代は重なっているものの、
0:12:54	W9-②と層相が異なることを踏まえると、連続しない可能性が考えられます。
0:13:01	以上のことから、W9-②と陸側のイベント堆積物は連続していないと考えられます。
0:13:08	156 ページは、供給元に関する追加資料分析についてです。
0:13:16	亀井ほか 2002 は、堆積物の全員を人事添全有機炭素C N - S 分析により求め、
0:13:23	堆積環境評価におけるG N S 分析結果の有用性を指摘しています。
0:13:29	本文献では、下に記載した堆積環境の判断基準が示されております。
0:13:36	左側のグラフは、T S とT O C の値からプロットされる位置によって、その堆積物が淡水性なのか、海成等の海成なのかを、
0:13:46	判別できる指標となっております。
0:13:49	グラフの左上に示されるのが、汽水湖堆積物の領域で、
0:13:53	その裏側にあるのが、今日還元性堆積物、中央は海成堆積物の領域、
0:13:59	他方に示される斜線の部分が、アンスイ性堆積物の領域になります。
0:14:05	この知見に基づき、先ほどW2-0W9-②と連続しない可能性が示されたイベント堆積物について、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:13	強いN-S分析を行い、
0:14:15	海陸期限に関するデータ拡充を行いました。
0:14:19	なお、甲斐化石を含むなど、明らかに海成層と判別されるイベント堆積物や提出堆積物についても、強いN-S分析を行い、
0:14:27	られた結果を、イベント堆積物の海陸起源の判別の参考としております。
0:14:33	157 ページが敷地西側のC N-S分析の結果になります。
0:14:41	W9-②と連続しない可能性が示されたイベント堆積物について、C N-S分析を行った結果を、左上の表に整理しております。
0:14:51	右下の表には、W9-②を含む海成堆積物のリファレンスの分析結果を示しております。
0:14:58	それぞれの表には、試料の採取深度、
0:15:01	T n T O C C s、
0:15:04	そしてそれらから求められるC N1C S比を示しています。
0:15:09	右上の赤枠で囲んだグラフをご覧ください。
0:15:14	今回分析したP Sと企業資料を、先ほど説明した関係図にプロットしたのになります。
0:15:22	青系の丸で示したのが、海成堆積物のリファレンスになります。
0:15:27	海成堆積物の分析値は、中央の海成領域に区分されることが確認できます。
0:15:33	それに対し、三角で示すイベント堆積物は、淡水性領域に区分されます。
0:15:39	この結果から、敷地西側のW15-0。
0:15:43	W15-④より陸側のイベント堆積物は、
0:15:46	すべて陸期限もしくは、
0:15:49	淡水起源の堆積物と判断されます。
0:15:52	なお、W19-③及び追加ボーリングのW20、21についても同様な結果となることを確認いたしました。
0:16:01	続いて、敷地東側についても調査結果を補足説明資料にて説明いたします。
0:16:06	補足説明資料 150 ページをお願いいたします。
0:16:16	敷地東側のボーリング調査支援と地質断面図です。
0:16:20	このページに、タニに沿った縦断像。
0:16:23	次の 151 ページに、横断図を示しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:27	敷地に、22、2324 が今回追加したボーリングになります。
0:16:33	西側と同様に、甲斐より基盤礫層が履歴シルト層、
0:16:38	シルト層、腐植質シルト層、布施砂層と区分いたしました。
0:16:43	このうち紫で示す、腐植質シルト層は西側と同様に、布施直下に、
0:16:48	ほぼ連続して分布しており、その中にイベント堆積物が挟まれています。
0:16:54	153154 ページは、
0:16:56	イベント堆積物の連続性についてです。
0:17:00	当社新 C T 画像、年代分析、帯磁率の結果を、イベント堆積物、12-① 及び追加ボーリング孔について、下端をそろえて示しております。
0:17:12	まず 153 ページですが、
0:17:14	海成力を含むことから、海起源のイベント堆積物であると評価される伊 井さんの②を起点とし、
0:17:21	敷地さんより標高が高く、高くなる陸側に位置するボーリング及び敷地 に対し、
0:17:27	伊井さんのモデルと同様の層相の有無を確認し、
0:17:30	連続性について評価いたしました。
0:17:34	4 の②及び飯野①の位置は、伊井さんの②と同様に、海成歴を含むイベ ント堆積物であるが、
0:17:42	6-⑥から、陸側のイベント堆積物、
0:17:46	については、海成力を含まず、伊井さんの②と層相が異なることから、
0:17:51	伊井さんの②は、飯尾の②及び委員の①の位置と連続するが、6-06 か ら陸側のイベント堆積物とは連続しないと考えられます。
0:18:02	なお、委員の①-1 は、従来コア観察により、
0:18:06	委員の①としていたイベント堆積物の範囲を、
0:18:09	C T 画像観察から確認される海成歴の分布新藤及び伊井さんの②から、
0:18:16	伊井さんの②からの連続性を考慮し、見直しました。
0:18:20	なお、委員の①の株は、別のイベント堆積物、人の①-2 といたしまし た。
0:18:27	155 ページは、イベント堆積物の年代評価結果です。
0:18:32	下の右のグラフが、敷地東側の結果になります。
0:18:37	伊井さんの②を基準として、堆積年代を比較すると、
0:18:41	4-②及び2-①-1 は、堆積年代が重なり、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:46	また、円礫を含む層相が連続することからも、伊井さんの②と連続する地層と考えられます。
0:18:54	16-1 及び 12-①は、
0:18:57	伊井さんの②と年代が異なり、連続しない可能性が考えられます。
0:19:03	また、6-06、7-①、
0:19:06	13の①。
0:19:08	及び、17の②は、
0:19:10	伊井さんの②と堆積年代は重なっているものの、
0:19:14	伊井さんの②と層相が異なることを踏まえると、連続しない可能性が考えられます。
0:19:20	以上のことから、伊井さんの②、飯尾の②及び飯野①の位置は連続しており、
0:19:26	6-⑥より陸側のイベント堆積物は連続しない可能性が考えられます。
0:19:32	158 ページは、敷地東側の C N - S 分析の結果です。
0:19:38	伊井さんの②と連続しない可能性が示されたイベント堆積物について C N - S 分析を行った結果を左上の表に整理しております。
0:19:47	右上の赤尾区で囲んだグラフをご覧ください。
0:19:51	敷地西側と同様に、海成堆積物のリファレンスを青系の丸で示しており、
0:19:57	それらが海成領域に区分されるのに対し、三角で示すイベント堆積物は、淡水性領域に区分されます。
0:20:05	この結果から、敷地東側の、6-⑥より陸側のイベント堆積物はすべて陸期限或いは淡水起源の堆積物と判断されます。
0:20:16	なお、12-①及び追加ボーリングの、22、23、24 についても同様の結果となることを確認いたしました。
0:20:26	再び本編資料 37 ページをお願いいたします。
0:20:37	今ご説明した内容が、調査結果に記載した内容となります。
0:20:42	それらの結果より、敷地西側の評価ですが、
0:20:45	貝化石を含むことから、無期限のイベント堆積物と判断される W9-2 を、
0:20:51	津波堆積物と評価し、その他のイベント堆積物は、陸期限のイベント堆積物であると評価いたします。
0:20:59	なお、W9-②は、現標高 5.5 メートル程度に分布し、堆積した時期は 5500 から 6500 年前ごろと評価いたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:09	また、敷地東側の評価は、
0:21:11	海成の円礫を含むことから、
0:21:14	海起源のイベント堆積物と判断される。
0:21:17	伊井さんの②オオノ②。
0:21:19	人の①の位置を津波堆積物と評価いたしまして、
0:21:23	その他のイベント堆積物は、旧基準のイベント堆積物であると評価いたします。
0:21:29	これらの無期限のイベント堆積物は、現標高5では0から8.1メートル程度等を記載しておりますが、正しくは4.7から8.1メートル程度でございます。
0:21:41	堆積した時期は、6000から6700年前ごろと評価いたします。
0:21:47	38ページは、詳細分析結果に基づき作成した敷地西側の地質断面図になります。
0:21:54	無期限のイベント堆積物を赤破線で示しております。
0:21:59	39、40ページは、敷地東側の地質断面図で、
0:22:04	同様でございます。
0:22:08	41ページは、詳細分析結果を踏まえた総合評価結果です。
0:22:13	1点誤字がございます。
0:22:15	下の右の表中、W21について、層相の欄がなしとなっておりますが、正しくは、ありでございます。
0:22:23	修正させていただきます。
0:22:26	評価結果の説明に戻りまして、
0:22:28	下の左の表が従来のイベント堆積物の評価で、右側が、
0:22:33	今回、詳細分析を踏まえた評価結果になります。
0:22:39	追加ボーリングと詳細分析項目を黄色で示しております。
0:22:43	詳細分析結果を踏まえ、貝化石、もしくは海成力を含む、
0:22:48	W9の②及び伊井さんの②を起点とし、
0:22:52	それらと連続性が確認されるかつ、
0:22:55	層相観察及びC N - S分析から海起源と判別される地層について、
0:23:00	海起源のイベント堆積物と評価いたしました。
0:23:05	43ページは、イベント堆積物の堆積当時の標高に関する評価結果一覧です。
0:23:11	詳細分析結果を踏まえて、敷地イベント堆積物の堆積当時の標高を、
0:23:16	0から4メートルと評価いたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:20	44 ページは、イベント堆積物の層厚に関する評価結果一覧です。
0:23:27	45 ページは敷地周辺の津波堆積物調査結果になります。
0:23:33	下のオレンジの箱、敷地周辺の津波堆積物調査の結果、
0:23:37	確認したイベント堆積物の高さは、
0:23:40	歴史記録に基づく痕跡高と同程度であり、
0:23:44	他機関による演習など沿岸域の津波堆積物調査と同様、
0:23:48	巨大な津波津波を示すイベント堆積物は確認されませんでした。
0:23:53	46 ページには参考として、南海トラフで確認されているイベント堆積物の年代をお示ししています。
0:24:02	南海トラフでは、図に示すように、約 6000 年前から現在までの幅広い年代のイベント堆積物が複数の地点において確認されており、
0:24:11	これらの調査結果を踏まえ、
0:24:14	やれトリドール 2016、南海トラフ広域地震防災プロジェクト 2020 等は、
0:24:19	南海トラフのいずれの地域においても、
0:24:22	東北沖を含む国内外の巨大地震の発生領域と同様、
0:24:27	同規模の津波が数百年間隔で繰り返し発生していたことを示す津波堆積物が確認され、
0:24:35	最大クラスの津波が発生した証拠は見つかっていないとされています。
0:24:41	48 ページは、敷地周辺の津波痕跡高についてです。
0:24:47	下のグラフ中に、緑のバーで示す津波堆積物から推定される津波高について、
0:24:53	今回の詳細分析結果を踏まえた評価を反映して、浜岡地点の堆積物の最大標高を約 4 メートルと評価しております。
0:25:02	51 ページは、演習など沿岸域における最大遡上高と津波堆積物の分布標高の関係についてです。
0:25:11	48 ページと同様に、今回の詳細分析結果を踏まえた評価を反映したものが下のグラフで、
0:25:18	津波堆積物から推定される遠州灘沿岸域の津波高は、歴史記録に基づく痕跡高と同等では同程度であることを確認いたしました。
0:25:29	55 ページは、歴史記録及び津波堆積物から推定される津波高のまとめです。
0:25:35	歴史記録及び津波堆積物から推定される遠州灘沿岸域の津波高は概ね 5 から 10 メートル程度であることを確認いたしました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:45	56 ページは参考に、津波評価結果との比較を示しております。
0:25:50	下のグラフで赤線で示す、内閣府の最大クラスの津波による、海岸線での津波高は、
0:25:57	歴史記録及び津波堆積物から推定される津波高、概ね 5 から 10 メートルを編集など沿岸域の全域において、2 から 3 倍程度上回っています。
0:26:08	当社の説明は以上です。
0:26:14	規制庁ニシキです。説明ありがとうございました。それではこれ、規制庁側より確認。
0:26:20	移ります。
0:26:32	規制庁サグチですけども、
0:26:34	ちょっと全体通して、まず、
0:26:38	大きなところを確認させていただきたいんですけど。
0:26:41	まず、本資料ですねコメント回答の 22 ページで、調査の全体概要と今回これ追加されて、特に
0:26:52	今回は詳細分析しました。
0:26:54	ということなん。
0:26:56	けど、
0:26:59	今少々伊達土肥して 1.31、これが津波堆積物調査で、
0:27:06	まずボーリングコアとか、
0:27:09	試料の観察とかをしていると、1.32 で、詳細分析と、
0:27:15	いう形をされているんですけど、
0:27:18	この、じゃあその次の 24 ページところかな、これ 1.31 になるんですけど、調査の概要という、何かこう、
0:27:27	これって再掲なので、
0:27:29	全体、これまでやってきたっていうことが多分書かれている。
0:27:34	けど、
0:27:35	そうすると、この 22 ページの、これとの整合性っていうんですかね。
0:27:40	言ってしまうとこれ 24 ページにもう、
0:27:43	またこの資料の分析だカラー
0:27:46	放射性炭素か防備とか、
0:27:49	当然、
0:27:51	そういうのも何か入っている状態なんですけど、
0:27:55	これって、
0:27:56	1.31 で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:58	実際に、
0:27:59	これまでは当然やってたのでいいんですけどわかるんですけど、今回ちょっと
0:28:05	昇降線みたいのをええられて、詳細分析は、こういったカーボンPも含めて、1.3-2で、
0:28:12	全部やるような
0:28:14	ちょっとたてつけにされているんですけど。
0:28:16	ちょっとそうするとこの24ページで、これまでのそのままだが残っているのかなっていうのと、35ページには、またこれ、
0:28:24	おなじ形でこれ、
0:28:28	分かれて、
0:28:29	いるんですよ確か。
0:28:30	むしろ、
0:28:32	ここで吊電、当然追加ボーリングやってCT画像やってCN-S分析を、
0:28:39	やりました。
0:28:40	当然、CT画像、
0:28:43	観察の中には当然、カーボンフォーティーンとか、これ入ってる。
0:28:47	とかってなるんですけど、ちょっとその辺の立て付けなんか、
0:28:51	以前のものが残ってたりして今回新しくこう全体の交渉構成みたいなのを多分変えてたりするんですけどその辺の整合性って取れてるんですかね。
0:29:07	中部電力の久松です。
0:29:10	立て付けとしましては22ページの方にある通り、まず1.3.1で、
0:29:16	まず、害さというわけではないんですがまず行った津波堆積物の評価ということで、
0:29:22	これまでの評価を行っております。それに対しまして敷地内で上、一番高いところというか上限標高を決めるという、
0:29:33	調査ということで、1.3.2ということで詳細分析をしているところでございます。
0:29:39	なので24ページにつきましては周辺を含めまして
0:29:46	これまで行ってきたものでありまして、35ページの方は、今回追加してきたものということで敷地のイベント堆積物を特に
0:29:58	検討対象にしているところでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:01	あと放射性炭素分析につきましては両方やっているわけなんです、これまでも、
0:30:08	35 ページの方に記載はさせていただいてますが、
0:30:13	これまでは目視で、資料取れるところをとって、分析をしておりますので、
0:30:21	深度方向に対する分解能はある程度、これ、今回、
0:30:28	それに対しまして今回、目視では確認できないようなものを、実体顕微鏡等を使いまして、
0:30:35	詳細にピックアップしましたので、深度方向の分解能というのは大分上げてきたつもりであります。そういったもので、
0:30:47	はい。35 ページの方に、
0:30:50	そういったことで、顕微鏡下で試料採取等をしておりますということでは書いておりますが、そういった分解能を上げてきたということで、少し
0:31:00	もう少しわかりやすく記載するようにします。
0:31:07	規制庁佐口です。すいませんちょっとよくわからなかったというのが
0:31:12	資料構成だけの話なのでまずはですね、まず最初に、1.3-1 で津波調査、堆積物調査全体の
0:31:22	概要っていうんですかね、そういうのと、実際にボーリングをやってそのボーリングのコア観察から、
0:31:30	いえること、
0:31:31	ていうのを、1.3-1 ではまとめられていて、さらにそれに対して詳細ないろんな分析をしたのが3.1. 3の
0:31:42	2 なのかなというふうに私はこの22 ページのフローを見て思ったんですけど、実際にはそうじゃなくてそのあたりが、
0:31:50	ちょっとこう、
0:31:51	いろいろごちゃごちゃになっ
0:31:53	ている部分があるかなと思ってお聞きしたんですけどそういう理解じゃないんですかね。
0:32:09	中部電力の久松です。
0:32:12	22 ページの方の青色の方のフローの青色の方にですね、
0:32:19	年代分析の方入れてないんですが、1.3. 1の方でも、
0:32:24	主要分析といいますか、年代分析の方も入っております。
0:32:30	それは周辺も含めて、全体の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:36	評価ということで、行ったものでありましてそれより下側の 1.3. 2 の方は、
0:32:42	敷地の
0:32:45	敷地内のイベントに、を対象として、
0:32:49	特に詳細な分析を行ったということですので詳細分析がありなしではなくて、
0:32:59	以前これまでやってきた評価が上側でさらに、敷地内を対象とした詳細な分析を加えたってのが下側になります。
0:33:11	ちょっとその辺の
0:33:12	構成につきましては、少し検討させていただきたいと思います。わかりました。規制庁田内ですけど、なので今のご説明だと、あくまでも私の理解ですと、
0:33:24	22 ページのフローの 3.31 は、敷地を含めない敷地周辺のものであって、3. 1.3-2 は、敷地内についてやっているのと、今多分そういうご説明だったと思うんですけど、多分それも、
0:33:39	ちょっと違うんじゃないかなとふと思っはいるんですけどちょっとそのあたりでやっぱり整理をしてですね、どういう形で示されるのがいいのか。
0:33:50	要は、実際の観察という、
0:33:54	形で、1.3-1 をまとめるで 1.3 の任務を、
0:33:59	分析という形でまとめられるのか、それとも今のご説明あったように 1.3-1 は、敷地内以外の周辺のところを外観的に見た上で、
0:34:10	さらに詳細に 1.3-2 で、敷地の中について、
0:34:14	いろいろ検討されているのか、っていうところがちゃんとわかるような形でいずれにしても、そこは整理をお願いします
0:34:24	中部電力の久松です。
0:34:27	承知いたしました。1、今、少し誤解といたしますか、ありますのは、1.3. 1 の方は、敷地内も含めてこれまでの調査、
0:34:39	あここれまでのレベルの調査ということで、
0:34:42	あと 1.3. 2 の方は、敷地内を対象とした詳細な調査ということで、1.3. 1 の結果を踏まえた上でさらに、
0:34:52	敷地内を詳細に調査しておりますので、その辺がちゃんとわかるようになりますね、
0:34:58	記載させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:35:02	はい。サグチわかりましたそこ、その辺りは少なくともきちんと整理をしていただきたいと思います
0:35:08	それからですね
0:35:11	そんなに大きくないのかもしれないんですけど、27 ページで、
0:35:16	敷地のボーリング調査地点という形であるんですけども、当然ながら、今回追加で、
0:35:24	当然 36 ページとかありますよね、追加のボーリングされてるんですけど、ここは 27 ページ、あくまでも、
0:35:31	これまで説明にあったものだけを対象にやっていて、追加は、だから、今ご説明あったみたいに、あくまで 3、1.3-2 以降でしかこれ出てこない。
0:35:43	ていうそういう説明なんでしょうかそれとももう、
0:35:46	これは津波堆積物放射全体を概観するっていうことで、今回の追加も含めて、示されるべきものなのかっていうのをちょっと教えてください。
0:36:01	はい。中部電力の久松です。全体としましては今回に追加したボーリングも含めて、最終的な評価をしておりますんで、
0:36:10	今回の資料の立て付けとしましては従来の調査結果っていうのを踏まえてイベントを対象として、敷地内のイベントを対象として、
0:36:20	さらに詳細に
0:36:23	分析を加えましたというたてつけにしましたので、
0:36:26	これまでの従来の資料についてはそのまま再掲ということを基本にして、作らせていただいております。今、佐口さんの方からご指摘ありましたので、そのあたり、敷地内と、
0:36:40	周辺とまた分けるかどうかちょっとこちらでわかりやすいように、構成考えるように検討いたします。
0:36:56	規制庁佐口です。
0:36:57	少なくとも
0:37:00	資料の整理は、もうお願いいたし
0:37:03	で、
0:37:05	そのむか強い昔っていうかこれまでの記載という意味で、
0:37:10	幾つかあったと思うんですけど、今回追加の分析とか踏まえて、
0:37:18	常、津波の堆積物、
0:37:21	の分析、
0:37:23	推定される。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:26	高さで、
0:37:27	津波、これまでのっていうのが、ちょっと低くなったと。
0:37:32	いう。
0:37:33	御説明だったと思うんですけどそうすると、今までに、
0:37:37	多分ご説明あって、これは津波評価の方でもご説明あったんですけど 32 ページとか 33 ページの、
0:37:45	この堆積当時の地形、
0:37:47	話って今まで当然あったわけなんですけど、
0:37:52	この辺りって、この谷地形であったんで、津波が集まりやすくて、当然ながら堆積物の分布標高とか厚さに影響を与え、
0:38:01	いるという、この御説明って、
0:38:04	結局ど、どうなるんでしょうかっていう。
0:38:08	もうちょっとお伺いしたいんです
0:38:17	はい。中部電力の盛です。
0:38:21	谷地形によって今回数値シミュレーションで解析的にもう津波が増幅するかどうかということを確認することというコメントを津波評価の方でいただいていますので、そちらについてはコメント回答ということで、
0:38:34	ちょっと今日の資料ではないんですけども、回答させていただいてます。で、タニ地形によって松波が増幅する可能性があるということは、以前から土木学会の
0:38:45	式だとか、今回、
0:38:48	3月に提出させていただきました津波評価の方のコメント回答では、解析的に上がり得るということを示させていただいてますけれども、
0:38:56	実際今回、堆積物調査を追加で実施しまして、そこまで津波が上がってきてないんじゃないかということをお示しさせていただきました。なので、谷地形によって、津波が上がり得るというのを解析的にはお示ししているものの、そこまで
0:39:13	歴史記録くうの周りと同じぐらいのところまでしか詳細に分析した結果として、津波堆積物が確認されなかったということが今回の我々の説明でございます。以上です。
0:39:27	はい。規制庁佐口です。まさにその通りですよ。今回の結果からは、少なくともそんなに
0:39:35	高いところまできて、
0:39:36	なかったんじゃないかと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:39	いうところなんですけど、これはだから、
0:39:44	この前のその地域、敷地内の話のときもそうだったんですけど、
0:39:49	もうそそういう結果があるんだったら当然最初から、
0:39:53	そういう結果で、
0:39:56	話を進めていけばそんなコメント、なんでここだけ、敷地内だけ高いですよね。要はイベント堆積物全部を保守的に評価しているっていう。
0:40:07	ご説明はあったんですけど、でもそれでも高いからこれどうしてなのっていうので、結局、ちょっと昔タニ地形だったんで集まりやすく、高久。
0:40:17	出ている可能性があるというようなこの前まではご説明だったんですけど、いやいやもうちょっと調査したらいや実際そこまで行ってませんでしたっていう話になると、
0:40:27	じゃあ今までのことって何だったのって多分、そういう話って絶対あって、当然ながら詳細に調査分析をした結果として、
0:40:36	今こういう結果になってますよっていうのは当然、そういう説明は理解はするんですけど、その前後関係っていうんですかね、前後関係というか、これまでの経緯、
0:40:48	を含めると、
0:40:49	なんかちょっと、今までの議論じゃないですけど、何だったんでしょうかねっていうのが、少し気になっていて、
0:40:58	そこは、
0:41:01	結局、解析的にも2倍ぐらいにはなるんだよと、当然言いつつもですねでも実際の調査、詳細に分析をしたらそこまで行ってませんでしたっていうと、
0:41:13	何だそれって話になりますよねっていうごめんなさいこれあくまでも感想なんですけど。
0:41:20	ちょっとそこは今後少し確認はさせていただきたいと思うんですけど、最終的に今回その41ページ、
0:41:30	御社が、
0:41:32	評価した結果、
0:41:35	これって、ごめんなさいちょっと見方を教えていただきたいんですけどあくまでも津波由来というのか、
0:41:44	に関するその堆積物っていうのは、
0:41:50	この真ん中の表っていうんですかね、これの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:54	丸、
0:41:55	一番右、右というのが備考の前のこの赤いところの丸。
0:42:01	のところ。
0:42:02	が、
0:42:04	津波由来というのか、そういう堆積物だと評価したというふうに、
0:42:10	ごめんなさい理解すればいいんですかねちょっとそこを教えてください
0:42:15	中部電力西村でございます。
0:42:17	今、
0:42:18	佐口さんがおっしゃってくださったようにこの表の一番右、
0:42:23	赤間赤井。
0:42:24	色の丸の部分が、最終的な海起源のイベント堆積物として当社が評価して
0:42:31	地層になります。
0:42:35	はい。サグチ
0:42:37	わかりました。なので、そうすると、
0:42:41	市の西側では1地点、
0:42:45	敷地の東側では31点で考えて、
0:42:50	いいのかな。
0:42:51	ていうふうになると思うんですけど。
0:42:54	そうした場合の、
0:42:56	これはあくまでも、
0:42:59	イベント堆積物、
0:43:01	ではなくって、これが本当の津波堆積物なんだという、ご判断かもしれないんですけど、そうすると、43ページって、当然これイベント堆積物って書かれているので違うのかもしれない。
0:43:13	けど、
0:43:14	敷地の西側と東側、西側は1ヶ所なんでそれはいいかもしれないんですけど、
0:43:20	東側ってこれ、
0:43:21	調査地点5地点あるんですよね
0:43:24	これって、いや、今まで既往の評価として、イベント堆積物と評価していた地点って考えると、41ページに移ります戻っていくといただくと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:36	これ5地点でもないんですよね。敷地の東側、西側も1点じゃなくて、ちょっとこの辺りの関係、43ページ、ちょっとよくわからないんですけど、
0:43:47	この辺りの関係ってごめんなさい、ちょっともう1個教えてもらっています
0:43:54	中部電力西村でございます。
0:43:56	今回追加調査の対象としてまず、敷地のイベント堆積物のを対象として、詳細分析を行っております。
0:44:10	補足資料補足説明資料の
0:44:14	規制庁、サグチすみません、ごめんなさい。そうじゃなくて41ページと43ページの関係をお教えくださいって、端的に言うと、
0:44:25	中部電力の久松です。
0:44:28	補足説明資料33ページ見ていただきますと、
0:44:35	4ページ、申し訳ありません、本編の33ページを見ていただきますと、
0:44:40	従来の評価の断面図を載せております。
0:44:45	で、今回の
0:44:48	詳細な追加調査の考え方としましては、
0:44:53	敷地さんの海成歴が含まれているイベントを起点としまして、
0:45:00	そこから標高が高い、高くなる方向に向かって、調査を進めてきました。
0:45:07	という、高くなる方向、または陸側に向かう方向ということで調査をしておりますので、3から左側の方を迎えまして467と言ってずっと、
0:45:19	追っかけていったものと、
0:45:22	あと、海側の方になるんですが、敷地さんより高い位置で敷地にというところが高くなっておりますのでこの敷地に
0:45:32	対象として調査をしました。
0:45:35	時間の問題もありまして敷地位置と敷地5につきましてはその兆候を超えなかったため、
0:45:43	今回、追加の分析をしております。なので、敷地位置と敷地後の一番上のイベントにつきましては、従来のイベントと同じ評価をそのまま変えないということでそのまま評価しておりますので、
0:45:58	そこで41ページ目に戻っていただきまして、この中には、敷地毎敷地位置の表、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:08	表が入っていない表になっております。今回追加した分だけをここ掲載しております。
0:46:15	そのため 43 ページにつきましては
0:46:19	今回、新たなデータが加わっていないものにつきましてはそのままの評価にしておりますので 71 と 115 につきましてはそのままの数字を、
0:46:29	入れております。このため、
0:46:33	1 点、増えているというか、表が合っていないといえますか。
0:46:39	なっておりますので、
0:46:42	そのあと、そのあたり整合するように、修正といえますか、県、
0:46:49	今日の表現の仕方については、
0:46:51	こちらの方で検討させていただきたいと思います。以上です。
0:46:58	はい。佐口です。
0:47:01	今ご説明受けて、やっとわかりました。なので、
0:47:06	41 ページっていうのは、あくまでもこれ最終結果じゃないってことです。つまりその 44 ページとかに、
0:47:17	評価結果一覧ということであって、ここに多分書かれているのが、おそらく、津波由来の堆積物、
0:47:28	すべて、
0:47:29	かなあと思うんですけど。
0:47:32	やっぱりこういう、
0:47:34	最終的に敷地の、
0:47:37	何か、
0:47:38	どういうものがあって、
0:47:45	どういうふうに認定をしたのか例えばですね、同じ資料の 16 ページみたいなこんな形で、敷地の中、敷地の中だけじゃないのかもしれないんですけど、
0:47:56	御社が実際に調査をして、その調査をした評価結果一覧というのが多分ないと。
0:48:04	よくわからないのでそこはきちんとですね、調査結果という形でまとめて、一覧表にするなりして、
0:48:12	最終的に評価結果っていうのをちゃんと示していただきたいと思いますが、そこはよろしいですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:22	はい。中部電力の久松です。最終結果ということで敷地内のイベントの最終結果ということで、すべてまとめられるように、検討させていただきます。
0:48:34	はい。成長昨日よろしくお願ひします。で、
0:48:38	あとですね今回敷地特に敷地内の津波堆積物というか痕跡高含めてそういうのが、ちょっと今までよりは変わったということで、多分48ページとか、
0:48:50	51ページ、今日ちょっとご説明あったんですけど、これ、
0:48:54	前回より変わったと思うので、そこはですね変わったことがわかる例えば前回までの会合だったらこう示していたんですけど、今回その詳細な分析調査分析にした結果、
0:49:05	こういうふうに変更になりましたということがですね、わかるような形でここは、
0:49:12	示していただきたいと思うんですけど、そこもよろしいですかね。
0:49:20	中部電力西村でございます。
0:49:22	前後関係がわかるように、グラフの方へ、
0:49:25	整備させていただければと思います。
0:49:29	はい。規制庁佐口です。よろしくお願ひします。あとちょっと、本編のさ、最後なんですけどこれはあくまでも教えていただきたいんですけど、今回その詳細な調査分析されをされて、今
0:49:42	ちょっと、
0:49:42	調査結果、ひとまとめにしたものをつけてくださいって言ったんですけど、その結果として、例えばですね、
0:49:51	痕跡高も当然変わっていて、ひょっとしたら堆積物の層厚もひょっとしたら変わってるかもしれないんですけどそうするとこの54ページとかの、
0:50:01	この緑丸って、
0:50:03	変わったりします。しません。そもそも、
0:50:07	今までってこの調査結果当社の調査結果を含むって書いてあるんですけど、ここに、
0:50:13	入っていたのか、入っていないのかも含めてなんですけどちょっと確認を。
0:50:19	させてください。この緑丸って何か変わる可能性あります
0:50:23	中部電力西村でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:26	はい。54 ページの、
0:50:29	緑丸につきましては、当社の結果が今回詳細分析を踏まえて、少し、
0:50:35	変更になったためその結果を反映した形で少し変わってきます。具体的に、
0:50:41	言いますと、大体、
0:50:45	海岸線からの距離が 100 メーター程度短くなったのと、
0:50:49	堆積物の濃度としては 1%程度低下したという結果になってございます。
0:50:55	グラフ中、
0:50:57	当社の評価結果がどれかって言いますと、
0:51:09	衛藤。
0:51:11	海岸線からの距離でいきますと、500 メーター。
0:51:14	のところであってそれを上にたどっていくと緑丸があるかと思いますが、そちらが当初評価の結果となります。
0:51:30	はい。規制庁作成ということで、今回もうすでにこれは変わったものがプロットされていて、それは、その 500 メーターぐらいのところのこの、
0:51:41	1 地点だけが変わるっていうそういう理解で今のご説明だとそうだったんですけどそれでよろしいですか
0:51:49	はい。その通りでございます。
0:51:52	はい。
0:51:53	1、規制庁サグチわかりましたありがとうございます。
0:51:57	で、ごめんなさい。浜野です。
0:52:00	すいません。今の表は、遠州灘全体を表してるんでこん中に置けば、いうのは、
0:52:06	要は浜岡の地点って、
0:52:08	2 ヶ所ぐらい、
0:52:12	1 ヶ所だけなんで今ご説明した 1 点が、
0:52:16	わずかに変わったということで全体評価、遠州灘で見ると意味では変わらないということですけど、ここも変えたことがわかるように、反映済みっていうところ。
0:52:26	記載させていただきます。
0:52:28	はい。規制庁佐口です。そうですね

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:52:31	より、例えば前はちょっとだけ変わった、全体評価としては当然変わらないかもしれないんですけど、来こういうふうに変更になったよというのが何かわかるような形で例えば色を変えて何か何か前回まではここでしたとか、
0:52:45	わかるような形で、示していただけるとより丁寧。
0:52:49	ええかなと思いますんでそこは、
0:52:52	よろしくお願いします。
0:53:02	あ、すいません引き続きサグチですけども、ちょっと補足食う
0:53:07	の方。
0:53:09	ちょっとごめんなさい、細かいところは入り込んでしまうかもしれないんですけども、
0:53:14	この記載ぶりだけなのかもしれないんですけど、ちょっと教えていただきたいのは 143 ページで、
0:53:20	柱状図記事と、
0:53:24	あるんですけど、
0:53:25	これ、
0:53:26	ちなみになんですけど柱状図全体っていうのは、
0:53:30	今回特に
0:53:32	追加でボーリングされたものっていうのは、これ一柱状図って何かでき上がってないとかそういう何か事情みたいなあるんですか、この一部だけこう書かれてるんですけど。
0:53:42	例えばその前の園木菊川。
0:53:44	幾つかの地点だと、
0:53:47	ボーリングコアがあって、柱状図、
0:53:50	があってという何かセットみたいなので、出されてたと思うんですけど、ちょっとその辺、例えば 125 ページとか、
0:53:59	けど、
0:54:01	そ、そういう何か事情じゃないんですけど、何か柱状図とボーリングコア写真セットで、
0:54:07	出すっていうようなことってできるんです
0:54:11	中部電力、西村でございます。
0:54:14	駐車場の方を完成してございますので、次回提出したいと思います。
0:54:19	はい。規制庁佐口です。よろしくお願いします。ちょっとごめんなさい 143 ページのこの、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:24	8.8 の異物。
0:54:27	はてなって書いてあるんですけど。
0:54:29	これ、多分、何か柱状図そのものに、多分そう書かれているかもしれないんですけどこれは、
0:54:35	このそのまま遺物はてなで、
0:54:39	いいんですか。
0:54:43	中部電力西村でございます。現在ちょっと何者かがわからなかったためちょっと異物はてなとさせていただき、いただいておりますが、もし、今後
0:54:54	何かがわかれば、こちらの遺物はてなというのを、きちんとした名称に変えたいと思いますが、
0:55:00	現状開花先ではないことを確認できたぐらいでございます。なので今回ちょっと別ハテナとして記載させていただいております。はい。サグチですいません中部電力久松です。
0:55:13	すいません中部電力久松です。ちょっと補足させていただきますと、
0:55:22	樹脂のようなものというか、ちょっとここ変電所の下を掘って、変電所の敷地内を掘っておりますので、少しそういったものが入り込んでるか無地盤改良材みたいなのが入っ
0:55:37	ているかもしれないようなところで分析してもちょっと自然のものとしてですね。
0:55:42	地質コンサルの方で分析してもちょっと何かわからないぐらいのものが入っているということで、1回洗ってあの形は見ているんですけど、なかなか、何かよくわかんないなっていうものが入って、
0:55:54	いますのでちょっと異物クエッションにしております。
0:55:57	詳細に確かめようと思うと、もう少し何か難しい分析をしないといけないようなものですので、今はこういった状況で、遺物クエッションと、
0:56:08	させていただきます
0:56:10	はい。
0:56:12	規制庁佐口ですけども、
0:56:14	そんな、何か分析をしろとかそういうことを言ってるわけじゃなくてあくまでもコンサルとか含めて柱状図の記事がもう本当にこのまま、伊豆遺物ハテナと書かれていたと。
0:56:27	そういう理解でまずいいのかっていうその確認だけなんですけど。
0:56:32	はい。そういうことです。はい。以上。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:35	はい。規制庁サグチですわかりました。
0:56:39	で、ちょっとごめんなさいこれ教えていただきたいというのが 152 ページとかなんですけど。
0:56:49	ごめんなさい、幾つかあるっていう言い方もいいのかどうかわからないんですけど、これって今表示されてるのは、
0:56:57	左からポーリングコア。
0:56:59	で、真ん中に、
0:57:02	C T、
0:57:03	帯磁率という順番で今、
0:57:08	書かれているんですかねこの各地で、ごめんなさい、違うんですかそれともポーリングコアを。
0:57:13	何て言うんすか。
0:57:15	半分に分けたって言ったらずで、そ、そういうものなのかって、ちょっとごめんなさいこの図から私がわからないだけかもしれないですけど。
0:57:23	多分、
0:57:26	はい、大橋島でございます。丹ですけど。
0:57:29	すいません。
0:57:30	おっしゃる通り、コア写真C T画像、帯磁率を左から順に並べております。そちら今わからないようになってるのできちんと何が何かっていうのを対応させていただきたいと思います。
0:57:43	基準サグチスわかりました何が示されてるかわかったのでもっとそこは記載をするようにお願いしてますんで、153 ページ、5、ごめんなさい細かいことなんですけど、
0:57:54	敷地 3 っていうのは、これ多分、コアのコアが長々言ったらいいんですけど、イベント堆積物が厚いので多分二つに分けられていて、
0:58:05	左側から右側に
0:58:08	繋がっていますよって。
0:58:10	いう、多分こういうものだと思うんですけど、赤矢印がごめんなさい、これ。
0:58:16	要はその左と右で切れていて、イベント堆積物として二つ認定されているのかそれとも、
0:58:24	これずーっとこうなんていうんすかね、左から右も、
0:58:28	含めてずっとこう連続して、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:32	イベント堆積物っていうふうな形で、評価とかされているのかちょっとそこを、
0:58:38	教えてください。
0:58:41	中部電力西村でございます。この敷地さんの伊井さんの②というのは一連のイベント堆積物と評価しております今、
0:58:49	ちょっと矢印が切れちゃってるように見えてるので繋がったイベント堆積物であることがわかるように、記載ぶり変更させていただきます。
0:58:58	はい。規制庁サグチすいませんじゃそこは了承
0:59:04	取りとりあえず私から以上
0:59:18	規制庁カイダです。
0:59:19	私の方からも、何点かの確認とか資料について、
0:59:25	コメントをしたいと思います。で、先ほどもちょっと話題になったんですけど
0:59:32	本編でいくと、40、
0:59:36	1-3-2。
0:59:37	があって、
0:59:39	今詳細分析をやって、
0:59:41	今回イベント堆積物から、
0:59:44	海詭弁に起源のイベント堆積物を絞り込んだというような、
0:59:50	ストーリーが、まとめっていうのが先ほどの41ページに、
0:59:55	載ってるかなと思います。
0:59:58	今回ですね
1:00:01	できればですねこの辺の表、
1:00:03	1枚でこうなりましたっていう結果だけじゃなくてですねこれ。
1:00:08	結局これが、
1:00:10	大事な、どういうふうに評価してどんなデータをもってどういうふうに評価したかっていう一連の流れが、
1:00:16	ちょっと本編から読み取れないんですけども、
1:00:20	補足資料の方で、
1:00:22	こういった詳細分析をして、した結果、どういうふうに絞り込んでいってどういうふうにイベント堆積物っていうか、海起源のものを認定したかっていう、
1:00:32	物はですね。
1:00:34	本編の方に入れていただいて、本編の方から読み取れるように、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:39	していただきたいと思うんですけども、
1:00:42	どこからどこまでかっていうのはちょっと大量にあるので、
1:00:46	ここでパッとわからないですね少なくとも、
1:00:50	例えば補足のし補足説明資料7っていうのを書いてあるような内容ですね。
1:00:57	こういったものは、
1:00:58	本編の方に持ってきて、通しで説明していただきたいんですけども。
1:01:03	衛藤、加賀です
1:01:07	中部電力西村でございます。
1:01:09	この表の結果の根拠としているデータについては本編資料に織り込みまして、それがきちんと本編で、一貫して確認できるような資料とさせていただきます。
1:01:22	はい。じゃ、カイダです。よろしくお願いします。
1:01:26	それとあと、
1:01:30	ちょっと順番戻って申し訳ないんですけど、14 ページで
1:01:36	堆積物の年代を示していただいたというところがあったと思うんですが、
1:01:41	これ、
1:01:44	番号が、
1:01:45	どの場所がどこなのかっていうのはちょっとこの図から読み取れないので、
1:01:50	前のページにも、よく見れば番号が書いてあるのかもしれないんですけど、
1:01:55	またそれもちっちゃくてわからないので、14 ページ。
1:02:00	これも、
1:02:01	どこまで示せるかわからないんですけど、番号を示して対応がつくようにしていただきたいんですけどいいです。
1:02:11	はい。中部電力の盛です。
1:02:12	今14 ページの表だと、一応色とです。文献に、表で書いてある色と、上のボーリング調査時点の色を合わせるようにしております。で、ちょっと番号の方は前の、13 ページの方と対応させていますので、
1:02:27	番号も表に書いた方がよろしければ
1:02:30	ちょっと加工なりして、番号も表記するようにいたします。
1:02:38	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:39	清町のカイダです。
1:02:41	色で示してあるとかっていうのを、今言われてみれば確かにそのようにも見えますので、
1:02:48	もう色でしか示しようがないので色で示すっていうのであれば、色で示しているっていうのを、ちょっと体をはかるようにお願いします番号があるにこしたことはないんでそこは、
1:02:58	すいませんよろしくお願いします。
1:03:05	で一つ、
1:03:07	どうぞ。
1:03:08	すいません中部電力の盛です。今、凡例の上の図の凡例の下の方にちょっと上の、
1:03:15	図のプロットと下の表の色が対応しているというふうにかきさしていただいているんですがちょっと、いっぱい注記があってわかりにくいところということかもしれませんが、いかがでしょうか。
1:03:25	カイダです。そうですねここに、
1:03:28	書いてありましたね。
1:03:31	もうちょっと大きい字で書いていただいて
1:03:34	番号も
1:03:37	番号はやっぱりこれ難しいですかこの辺りに、
1:03:41	示すっていうのは、
1:03:45	はい。中部電力森井です。ボーリング地点が何個かありますのでちょっと13ページのような1点で丸打つことができないのでちょっと見にくくなるかなとは思いますが、
1:03:56	何らか図に入れることはもちろん可能ではあります。表記についてもう少し見やすい方法がないかということは少し検討させていただければと思います。
1:04:05	はい。カイダです
1:04:06	そうですね。ちょっと、
1:04:09	ちょっと工夫していただいてさっきの色の対応のところも、字を大きくするとか、
1:04:14	あと、
1:04:16	対応が付きやすいように、もし工夫できるのであればしていただきたい。
1:04:21	お願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:22	これは
1:04:24	以上でして、
1:04:29	補足説明資料の方をお願いします。
1:04:33	補足説明資料でいきますと、
1:04:41	例えば、今回分析をたくさんされたと思うんですけども、
1:04:46	補足説明資料を元の、まず前半の方は、
1:04:50	ずっと5ページ以降ぐらいで、
1:04:53	すべての地点のボーリングの写真、
1:04:57	というのが、
1:05:00	示してあってその中に、
1:05:03	地層の番号とか、あと分析をしましたっていう地点が入ってるかと思う んですね。
1:05:09	で、
1:05:10	このページの部分っていうのは、今回、56ページで終わってるんですけども、
1:05:18	今夏
1:05:20	調査されたのが、この
1:05:22	ところがないので、
1:05:24	ないんですけども、
1:05:26	これが、
1:05:28	後ろの方に分かれてるんですけどもここの、
1:05:31	一覧で示すことが、
1:05:34	できるのであればそっちの方がいいと思いますし、
1:05:37	あと、
1:05:38	分析した場所とかも、
1:05:42	この56ページまでの部分の資料っていうのは、
1:05:46	新しく分析した。
1:05:49	場所っていうのが入ってなくて既往のボーリングのコア。
1:05:52	で、
1:05:53	分析を追加したようなところもあるんですけども
1:05:58	視点が抜けていたりして、
1:06:00	ちょっとこれ、
1:06:02	前段でこれが
1:06:05	現地調査のボーリングコアですよっていうのを示している。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:08	総括的なものって位置付けであればそういった情報も、もう盛り込んだほうが良いと思うんですけども、これは
1:06:17	何か理由があって今分けて、示してないってことなんでしょうか。そこは確認なんですけれども。
1:06:28	中部電力浜野でございます。先ほど佐口さんのお話と、同じかと思っております。ちょっと、
1:06:34	今回新た2、詳細な追加調査をしたというところで、本日のご説明に当たってそこをクローズアップして、
1:06:43	ご説明した方がわかりやすいかなという観点で、
1:06:48	新しく追加したものを後ろ側に、補足の7番という形で、全部パッケージ化。
1:06:56	多様な
1:06:57	イメージでおります。
1:07:00	敷地Gの敷地内断層の時でも、調査計画を冒頭に全体をお示した上で、本編に織り込むみたいなやり方が、
1:07:12	ご理解がよろしいというお話もあったので、ちょっとそういう形で整理してきたんですけど。
1:07:19	佐田さんおっしゃる通り、最後総括的って意味で簿バラバラしてると、逆に読みにくいよっていう、お話もよくわかりますので、少しここの辺り再構成して、
1:07:31	今回やったのはこうだけど全体見渡すところですよってのがわかるような、立て付けに変更したいと思います。
1:07:42	はい。カイダです。じゃそのようにお願いしますまず全体像があって、2回出てきてもいいと思うんで今回やったものってというのは、全体像があった上で、
1:07:52	今回やったものでこれですという、今の、
1:07:56	形で後ろに掲載するという形でもいいので、
1:08:00	そこはよろしくお願いします。
1:08:02	それとあと、
1:08:07	ちょっと表示、表示上の問題ってどうか確認なんですけど、
1:08:12	149 ページ。
1:08:14	とか、以降、150、151 ページ。
1:08:19	今回の検討結果の図が、
1:08:22	入っています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:08:24	上の箱分 149 ページを見ますと、
1:08:28	イベント、
1:08:30	2 ポツですかね、箱がイベント、最後にイベント堆積物は、
1:08:35	シルトに挟まれているっていうような、
1:08:38	記載がありまして、
1:08:40	ただこの 149 から 151 を見ても、
1:08:44	どれがイベント堆積物なのか、この
1:08:47	ちょっと図からは読み取れなくて凡例にも、
1:08:50	なくてですね。
1:08:52	これはあの図を見て、
1:08:54	わかるようにしていただきたいんですけども、これ、
1:08:57	は赤いやつが、今イベント堆積物なんですか。
1:09:02	ちょっとわかるように、
1:09:04	表現していただきたいんですが、
1:09:07	はい、中部電力西村でございます。
1:09:10	衛藤紫色の中に示しているピンクが、赤で示してるものがイベント堆積物となりますのでそちらがわかるように、記載させていただきます。
1:09:25	規制庁の甲斐です。わかりましたで。
1:09:28	ここでいうイベント堆積物っていうのは、
1:09:31	何か雰囲気元のイベント堆積物とは別に、
1:09:37	まず、
1:09:39	広義のイベント堆積物みたいなものっていうことでいいんですかね。
1:09:45	はい、中部電力、西村です。
1:09:47	おっしゃる通りで、今回、分析の対象となっている敷地のイベント堆積物、広義の意味のイベント堆積物でございます。
1:09:56	はい、わかりましたじゃ。
1:10:01	ひょっとしたら何か海起源のとかついてなかったりついてたりでイベント堆積物っていう、
1:10:07	言葉も、
1:10:09	パッとわかりにくいのでちょっとその辺りも、
1:10:12	含めて表現を、
1:10:16	なんかされた方がいいかなと思ってますんで、
1:10:20	そういった意味で例えば 155 ページ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:30	この下に、9 敷地西側のイベント堆積物の堆積年代東側のイベント堆積物、
1:10:38	ていうのがあってこれも、
1:10:41	赤がついてるのが多分、海側海起源のとは思うんですけども、
1:10:47	その辺もちょっとこう、この
1:10:50	表からわかりづらいですし、
1:10:52	例えばW19-3 とか、
1:10:55	12-1 っていうのは、
1:10:58	本編治療の方とかの説明だと。
1:11:01	これは御社は、イベント堆積部広義のイベント堆積物にも、
1:11:06	入ってないという評価だったと思うんですけど。
1:11:10	そのあたりがですね、さっきの、
1:11:12	断面図とかも、のイベント堆積物はっていう、言葉、
1:11:17	この辺りの表現も含めて、ちょっと対応してないっていうかよく読み取りづらいので、
1:11:24	少なくともこの 155 ページの辺りはちょっと表現を、
1:11:28	直すとか、わかりやすいように、
1:11:32	していただけますか
1:11:35	中部電力西村でございます。
1:11:37	155 ページイベント堆積物を 1 くくりにしてすべて示し、しまっていたためちょっと誤解が生じるので、そこら辺、きちんと
1:11:46	地層によって区別して記載してわかるようにさせていただきます。
1:11:50	イベント堆積物と海起源のイベント堆積物という言葉についても、少し、
1:11:55	誤解がないように、整理させていただければと思います。
1:12:02	はい。規制庁の甲斐です。
1:12:04	そのあたり読んでてわかりやすいように表現をお願いします。
1:12:11	で、
1:12:13	152 ページに戻っていただいて、
1:12:21	これもですね
1:12:23	ちょっと上の、
1:12:25	なんていうか、箱書きを見て下の、
1:12:28	図で、
1:12:29	どこまでが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:31	何て言いますかね。
1:12:34	海起源のやつがやってきてるって考えてるのかとか、
1:12:38	153 ページも同じなんですけれども、たくさん書いてあって、
1:12:43	結局どこまで押す。
1:12:45	続いていると考えるかっていうのがなかなかわかんなくて、
1:12:48	153 ページは、
1:12:51	例えば 3 ポツ目の、
1:12:53	最後のところに、6-6 から陸側のイベント堆積物、
1:12:58	とは連続しない、6 よりは、陸に下の方には行かないというのは、
1:13:05	読み取れるんですけど、
1:13:07	152 の、
1:13:09	ページの方は、
1:13:12	多分、一番右側の 9 番で終わってるんだっていう、
1:13:17	全体読むとそういうふうには読めるんですけどちょっと、
1:13:20	153 ページみたいに、
1:13:23	ちょっとバシッと書いてもないし、
1:13:25	まず図を見てもちょっと、
1:13:27	わかりづらいので、
1:13:29	これも、
1:13:33	ちょっと図を見てわかるように、あと表現も、
1:13:36	どこもどこまで繋がってると思ってるけどどこどこよりは行ってないっていうのが
1:13:42	何か、
1:13:43	わかりやすい文章で、
1:13:45	書いていただきたいんですが、
1:13:47	そのあたりの、
1:13:49	はよろしいですか。
1:13:55	はい。中部電力の久松です。
1:13:57	ここの補足説明資料の調査結果のところにつきましては、最終評価は年代分析も含め、C N - S の分析も含め、
1:14:11	最終的に三木元のイベント堆積物はどこまでかっていうことは最後に書いているんですがここは調査結果ということで、
1:14:20	記載しているためちょっとはっきり評価し、しきっていないというかここで断定的にしていないので、今のような、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:30	ちょっと曖昧な記載になってしまっているんですが、事実関係、こちらのCTなり、
1:14:37	帯磁率なり、層相を見まして、技術関係としてここここは何がいえるかっていうのがきちっとわかるようにですね、記載を、
1:14:48	させていただきたいと思います。最終評価につきましては、
1:14:52	すべてのデータを含め、総合的に解釈しているところもありますので、ここイベントとしてはここまでっていう記載はここには入らない。
1:15:02	ことにはなりますが、
1:15:04	調査結果として、
1:15:05	何の調査を見、結果を見て、どういう判断をし、
1:15:09	どういうことがわかったかっていうことはきちっと分かるようにですね、日本語の方、文章の方、検討させていただきます。
1:15:17	以上です。
1:15:21	規制庁の甲斐です。わかりました途中の検討段階ということであまり、
1:15:26	断定的なことは書いてないっていう位置付けっていうことかと思えます。
1:15:31	その範囲でも、ちょっとわかりやすくていうところをお願いしできればと思います。
1:15:40	それとですね
1:15:45	155 ページをお願いします。
1:15:50	で、
1:15:52	これは年代を比較した上で、
1:15:56	海起源の
1:15:57	イベント堆積物っていうのの同層準のやつがどこまで、
1:16:02	言ってて各々の地点での地層が、
1:16:06	対応するかしないかっていうような検討がされていると。
1:16:09	で、その上の中の箱書きとかで、
1:16:13	結局、
1:16:16	手前の方でもう止まるってことになって、
1:16:18	今評価なので、
1:16:20	18-3 と 19-3 が繋がるんかとか、
1:16:24	そういったところはちょっとこう、
1:16:27	ぼやけてきたような位置付け的には、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:30	あまり
1:16:32	今回、クリティカルにならないようなことになってしまった。
1:16:36	と思うんですけども、
1:16:39	少なくとも、そのあたりは照準が違うんだっていうようなところは、
1:16:44	何かこう、新しいデータとか出てきて、
1:16:48	わかってきたかなというふうに、これ見て見て思いました。で、
1:16:55	これはこれで
1:16:57	有益な情報が入ってきてるとは思うんですが、
1:17:04	これ、例えば、
1:17:07	通常の津波堆積物の先行他社とかの、
1:17:13	評価とかを見ていても、
1:17:21	例えば 149 ページの次の図で、
1:17:24	断面図で見ると、
1:17:28	引地 9 のところの、
1:17:33	赤いやつですね、4200 年ぐらい前の、
1:17:37	腐食度の中というか、
1:17:40	色度の一番下なのか、直管なのか。
1:17:44	これがイベント堆積物で、ズーといったところで、
1:17:48	N o。
1:17:51	もう 15 には続きません。14 荷物 18 にも続きません。
1:17:56	ということで、
1:17:59	今、18-3 とか 14-5 とか 15-4 とかっていうのは違いますというような説明なんですけれども。
1:18:09	並びで、右の左の方で、
1:18:12	19 の
1:18:14	3、
1:18:15	っていうのは、
1:18:18	そもそも層準が違います。
1:18:20	食道より上なんですよっていうのは説明で、
1:18:23	155 ページの説明は、一応終わってると、これ
1:18:28	19-3 というのが、
1:18:30	見てるんじゃないかという指摘の回答という意味ではそういったことだ と思うんですけども。
1:18:38	例えばその 152 から 153 ページのような検討で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:44	これは、
1:18:45	やっぱり次敷地級のこの、
1:18:49	152 でいうと敷地旧のこの海起源のイベント堆積物は、
1:18:56	ありますと。
1:18:57	それと同じような層準、同じような時代を見たときに、
1:19:02	どこにもないんですよっていう。
1:19:03	情報も、
1:19:05	やっぱり層準が 19-3 というのは違ってたんですで終わるんじゃなくて、
1:19:10	19-3 でいう、19、敷地 19 でいう。
1:19:15	相当層準というか、
1:19:17	想定される層準にもないんですよっていうところを、
1:19:22	追加調査で、
1:19:24	より詳細な年代がわかってきたんで、
1:19:27	その部分にもないんですよっていうのをちゃんと示していただいて、江藤並べて、続きませんというのを、
1:19:35	示していくような、資料もつけていただきたいんですけれども。
1:19:40	そこは
1:19:41	いかがですかね。他の 19 だけに限らず、この
1:19:46	地球のこのイベント数堆積物の、
1:19:49	相当層準。
1:19:51	にはないんですよっていうのは、なっているのであればそれでいいんですけれども、
1:19:56	層準が違います。
1:19:58	ではなくてその、
1:19:59	想定されるところにもないんですよというような形での切り口での資料もつけていただきたいと。
1:20:05	思ってますが、
1:20:07	いかがでしょう。
1:20:20	地方電力ニシムラでございます。
1:20:22	今ほどおっしゃっていただいた、イベントの層準と、
1:20:27	うん。前回会合で指摘された、
1:20:30	イベント等に似てるんじゃないかと言われたし、地層について、
1:20:33	層準が違うだけではなくてイベントが想定される層準がここで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:38	それとは異なっているところに位置していると、だから違うんだということがわかるように記載させていただければと。
1:20:45	思います。
1:20:48	はい。規制庁の甲斐です。じゃ、よろしくお願いします。なので
1:20:54	もちろんないんですってということだけじゃなくて
1:20:57	こう並べた形で、ここにはないんだっていう、データを示した上でっていうことですので、よろしくお願いします。
1:21:09	比木
1:21:10	好きなんですけども、
1:21:19	あと、
1:21:22	今回、最後 158 ページ。
1:21:27	データ集で最後に、
1:21:29	データ集っていうか、データで最後んなってるような、
1:21:33	感じなんですけども。
1:21:36	いろんな、
1:21:38	C TとかカーボンとかC N - Sを踏まえて、
1:21:43	がどうだったんだっていう、まとめの的な、
1:21:49	何とかページがちょっと見当たらずでですね、今度これを本編に、
1:21:54	持ってくってことであればそこはもう解決すると思うんですが、
1:21:58	少なくともこういった分析やってこういったふうにしてこういうふうにしてこう評価しましたっていうような、
1:22:04	結論的なページが、
1:22:07	欲しいなと思ってますけど。
1:22:09	それって今、ちょっと
1:22:11	どこか、案あるんですけどちょっと。
1:22:14	最後についてるのかなと思って見てたんですけど、ないので、
1:22:18	もしあるんだったら教えていただきたいし、ないんであれば教えてください。
1:22:27	中部電力の久松です。今カイダさん見られてるのは補足説明資料ということですので、調査結果を、もう羅列といいますか、並べているものということで、
1:22:39	おっしゃる通り結論についてはほとんど書かれていないものです。事実関係を示しているものになりまして、
1:22:46	評価につきましては本編資料の方 37 ページにまず、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:51	やった、断面図、本、本来であれば断面図と一緒に記載したいところではあるんですが、断面図が小さくなってしまふ、地質断面図小さくなってしまふので37ページの方で文章として、
1:23:05	記載しまして38ページ目の方で、今回調査したものを載せていると。
1:23:12	断面図、図面としては載せているということで、
1:23:15	37ページにやったこと調査結果評価を書いております。
1:23:20	41ページ目の方に表をつけておりますがいつもマトリックスでまとめる全体が見えるようにということで、いつもご指摘ありますので、各調査結果についてどのような結果が、判断をしているかということで表にまとめたものが41ページになります。
1:23:38	この判断の仕方につきましては一番右側の判例というわけ、判例といいますか。
1:23:44	表の判断基準のようなものを右側書いておりますが、
1:23:51	各調査結果につきまして、起点となるものと、層相が同じであるかどうかだとか年代が重なるかどうかだとか、
1:24:00	そういうことを、こちらで判断した結果は、このマトリックスの方で示しております。
1:24:07	それで、
1:24:08	起点から出発しまして、ずっと海起源のものが連続していると判断されたものを、
1:24:16	木部三木元のイベント堆積物として評価したということで、
1:24:21	41ページ目の方に全体の
1:24:24	結果は示しているつもりであります。
1:24:27	こちらの方に従来、
1:24:30	調査の結果については抜けているということですのでこちらですべてがわかるようにしたいと思っております。以上です
1:24:40	はい。規制庁のカイダです。先ほども申し上げたように
1:24:44	その分析結果とかは、本編の方に持っていかれるということで、
1:24:49	そのあたり
1:24:50	綱をつなげたような形でこの
1:24:53	まとめのところも出てくるようになるのかなと思っておりますのでそこはよろしく願います。
1:24:59	それと、
1:25:02	また本編補足説明資料の方で戻っていただいて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:25:09	この
1:25:11	C N - S分析っていうのが、今回新しく 156 ページ以降で、
1:25:20	出てきてますんで、
1:25:23	これは
1:25:25	結構今回の
1:25:26	評価の、
1:25:30	こんこん感といいますか結構重要な位置を占めてると思うんですけども、
1:25:36	今、
1:25:37	亀井ほか 2002 とかっていう、
1:25:40	文献を拾ってこられていて、
1:25:45	この文献は一応確認はしたんですけども、
1:25:51	津波堆積物の調査、
1:25:54	こういったもので評価してますっていう、事例とかあるのであれば、
1:26:00	そういった問題もちゃんと実績とかがあるような手法なんですよっていうのを、
1:26:05	示した上での、何か説明をしていただきたいんですが。
1:26:10	そのあたりは、
1:26:12	どうですかね。
1:26:16	中部電力西村でございます。
1:26:18	実績につきましては、島根原子力発電所の津波堆積物調査において市 N - S 分析を用いて判断されているといった実績。
1:26:27	を踏まえまして今回当社でも、
1:26:30	敷地の津波堆積物調査に適用できるかといったところでまず調べていて、
1:26:36	海成の
1:26:37	157 ページ、8 ページもいいですが、右下の、
1:26:43	海成堆積物のリファレンスといったところで、きちんと海野値が出るのかとかという、
1:26:48	どうかという観点で見えてみて、海という値が出てるので、これは使えるだろうということで、
1:26:55	適用してございます。
1:27:01	はい。規制庁のカイダです。
1:27:03	あの分、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:04	島根でやってるといことで、
1:27:08	論文とかでこういったのをやってる事例っていうのは、
1:27:13	把握されてますでしょうか。
1:27:22	中部電力の折本です。論文でも、C S分析、それからC N分析なんかを使った事例ありますのでまたちょっとその辺も整理して、
1:27:31	示させていただきたいと思います。
1:27:34	はい。規制庁の甲斐です。そうですね
1:27:36	一応実績、
1:27:38	があって、
1:27:40	津波調査でもやってんだっていうのは、
1:27:43	実績を、
1:27:45	なるべくたくさんあった方が、適用性という観点では、
1:27:49	いいかなと思いますんで、お願いします。
1:27:54	あとそれとですね
1:27:56	このC N - S分析で、
1:27:59	ちょっと今回と直接は関係ないんですけども、
1:28:04	地内の地質のB F 4 地点で海成か淡水性かというのは、議論があったと思いますんで、
1:28:12	そっちの方では、
1:28:14	こういった分析結果っていうのは、
1:28:17	多分出てきてなかったと思いますし、
1:28:22	S R Dだと、黄鉄鉱がもう出てないというような話で、だったと。
1:28:29	いうところで、
1:28:32	これはそれなりの適用性があるっていうふうなもの。
1:28:36	ということであれば、
1:28:38	今回、直接じゃないんですけども、そっちの方での適用っていうのは、特に今、
1:28:45	検討されてないと。
1:28:48	何か。
1:28:49	されてるんでしょうか。
1:28:53	中部電力の森本でございます。敷地外でも、海成かどうかっていうところで、一つコメントをいただいておりますので、
1:29:01	S N S分析試行的にやっております。
1:29:04	加藤さんおっしゃるようになりますねもともと鉱物で黄鉄鉱が古谷泥層、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:10	B F 4 地点だけではなくて B F 1 地点で均一性という大差キーでもですねもともと出ない。
1:29:17	ものですので、結果としてですね c m s S の結果も、
1:29:21	硫黄の量もそれほど入ってなかつ、入ってないという結果が出ております。
1:29:27	またそのあたりはですねやはり様が、
1:29:32	時だけがともに流れて食う流れやすい物質ですので、
1:29:36	コメントでいただいているように全体で整合した説明ができるように、
1:29:42	津波堆積物との違いですとかそういったところも、
1:29:47	津波対策調査でやってるところとの違いですとかそういったところは、敷地の方でご説明させていただきたいなと思っております。
1:29:54	ただ今回津波堆積物評価するにあたってですね先ほど西村の方からも、
1:29:58	ご説明がりましたが、
1:30:00	同じ時代の海の地層で、
1:30:04	海だという値が出るということをしっかり確認しておりますので、
1:30:09	6000 年前の地層判断住処 R i c k e r 波で話すにあたっては、
1:30:14	C S S 分析が使えるということはしっかり確認しておりますので、
1:30:18	堆積物の評価にあたっては影響がないものと、
1:30:22	古谷泥層の結果がどうであろうと、影響がないものというふうに考えております。
1:30:27	またそのあたりは敷地の方でご説明させていただきます。
1:30:31	はい。規制庁の甲斐です。
1:30:34	そうですね。ちょっと今日は津波堆積物の方の、
1:30:37	お話ってことで津波ではこう評価されてるところを今、
1:30:41	やってますので、これを結構重要な根拠として用いられるので
1:30:47	同じような議論ということで、やっぱり市来地内でされてるのでそこは
1:30:52	ちょっと整合説明としては整合的に、
1:30:55	性が保たれてないと、なかなか難しいと思いますそこは
1:30:59	そんな時、向こうの敷地内の方でも、ちょっとまたかお聞きしますので、その説明は
1:31:08	準備しておいていただきたいと思い
1:31:11	それとあわせてなんですけど今日聞いていて、
1:31:17	B F 4 地点って、
1:31:19	有機物も出なくて、なかなかすごい新しい

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:24	カーボンとかもやるようなものがないっていうようなお話だったような気がして当然、新しくないっていうものの、
1:31:32	念のための確認でできないかなと思う。
1:31:36	いうこともちょっと考えておいたんですけど
1:31:39	今日なんか、顕微鏡下で、こっち
1:31:43	と搬出物を探して、
1:31:45	カーボンができましたっていうような話もあったんですが、
1:31:49	あっちの方、BF4の方でやっぱりそこまでやっても出てこなかったかというのは、これもまた今後、
1:31:56	同じような、
1:31:58	議論で同じような整合性ということで確認はさせていただきたいので、
1:32:05	よろしくお願ひしたいと考えています。
1:32:11	はい。中部電力浜野です。カイダさんのコメントは重々承知しておりますが今、
1:32:19	古谷泥層と、BF4地点と、
1:32:23	笠名、或いは敷地内の泥層等の差別化っていうところはしっかり検討を進めてますので、
1:32:32	なるべく早く整理してご説明したいと思ひますちょっと堆積物とは経路が違ふんでここは堆積物としては、先ほどモリモトと申し上げた通り6000年という同じ中では、
1:32:43	こういう評価としては妥当ですっていうところで終わらせていただいております。全体っていう話及び、敷地内の方で、
1:32:51	しっかり整理して説明させていただきたいと思ひます。
1:32:57	はい。規制庁の甲斐です。わかりました。
1:32:59	そちらの方の説明もまた後日、よろしくお願ひします。
1:33:05	私の方からは
1:33:08	以上です。
1:33:12	規制庁のまず数です。ちょっと今のたまかイラーの
1:33:18	コメントとちょっとかぶるんですけども、
1:33:24	従来ですね、
1:33:27	イベント堆積物を認定されて、
1:33:31	ボーリング断面図でほぼ同じ層準なので、
1:33:35	ここまで広がっているよっていうようなお話をする、ご説明があつて、
1:33:40	今回CN-Sで認可の認可の判定ができたので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:47	津波堆積物はマリンだけで、それよりも陸側にあるやつは、イベント堆積物だけれども津波ではないという評価。
1:33:58	をされたという。
1:34:00	ことだという認識ですけどそれで間違いはないですか。
1:34:15	中部電力の久松です。
1:34:18	今、イベント堆積物が、
1:34:23	野間梨花真凛かを判断した上で連続性を確認したという。
1:34:28	認識だったかと思いますが、
1:34:31	まずはこれまでボーリング調査してコア観察をした上で、今まで
1:34:38	シルトだとかいろんな層相はきちっと観察はしていたんですが、その層相の区分をですね次堆積物として一つひとまとめにして、
1:34:49	その中で、
1:34:51	イベント堆積物としたものが、連続するものとか、仮定といいますか、保守的に判断して、
1:35:02	評価しておりました。その連続性につきましても、
1:35:06	白井さんの直下にあるものは、もう連続するものとして、こちら記載もさせていただいてますが連続するものと判断し、
1:35:15	保守的に判断した上で、
1:35:17	イベントとしていたわけですが、今回は、
1:35:21	これまでの観察結果、あとはC Tによる観察結果を踏まえまして、
1:35:26	まずD種堆積物の方を、層相をあげまして下の礫まじりのシルトから腐食のシルトと、
1:35:36	層相区分しまして年代も確認しましてれんその層相の腐食質シルトの連続性というのを確認した上で、
1:35:45	その中に、
1:35:47	イベント堆積物が挟まれていると。
1:35:49	その年代を確認した結果、連続するしない、しない可能性もあるものもあるのでそういったものについては、C N - Sで海陸の判定をしたということで、
1:36:01	ある程度層相区分と年代分析をした上で、連続性を確認して、
1:36:08	それで連続性が確認、連続性がない可能性もあるものについても、C N - Sで、海陸を判定したという順番になっております。
1:36:20	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:24	わかりました。そういうことだから支援、CAMSによるマリンの②だけじゃなくて、
1:36:31	層相的にも、
1:36:35	年代的にも繋がらないんだということがきっちりとわかるような資料をやっぱり、
1:36:40	整理していただきたいと思います。
1:36:46	先ほどちょっと美敷地内のBF4の話のカイダの方からもしましたけれども、パイライトが入ってないんでSも少ないんで、
1:36:58	わかりませんっていう話だったけども、今回の地点はこれパイライト入ってるんですか。
1:37:13	中部電力の森元です。XRDの分析まではやっておりませんが、
1:37:19	CMS分析で出てくるSEOってのはパイライトで入ってるっていうのが一般的に言われてることですのでおそらくパイライトという形で、
1:37:28	地層の中に保存されているというふうに考えております。
1:37:33	だから
1:37:35	説明が、
1:37:37	やっぱり
1:37:39	資料を読んだときに疑問は持たれないような資料の構成をお願いしたいと思います。
1:37:46	以上です。
1:37:47	中部電力の森本です。疑問というのは具体的にどういったところでしょうか。
1:37:55	いや、パイライトがはい。
1:37:57	てるか何か調べなくて、
1:37:59	CASで梅田陸だという結論を出しながら片っぱはパイライトか入ってないから初めからやらないよっていうのは、それはちょっと説明になってないというふうに思ったので、その辺をきっちりと、
1:38:12	バックグラウンドも含めた説明をお願いしますということです。
1:38:19	はいモリモトです。すいません私の先ほどの説明が誤解を
1:38:24	与えてしまったようで申し訳ございませんでしたが、
1:38:27	CMS分析を使って海陸というのを、津波堆積物評価で、
1:38:32	今回ご説明させていただいてます。前回敷地内の会合で、
1:38:37	そういう津波堆積物の地層で調査している地層との差別化も、
1:38:41	マイクポイントとして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:43	説明するようにというご指摘は、
1:38:45	いただいておりますので、当然、
1:38:48	そういった津波堆積物の説明、
1:38:51	それはとれた調査結果。
1:38:54	調査メニューといえますか、説明をするつもりであります。
1:38:58	なんで
1:39:00	機材の瀬回答というところですね、そのあたりは、
1:39:04	ご説明させていただければと思いますので、何も敷地内の回答の中で、
1:39:11	パイライトが出てないから、鈴、CS調査をやらないんだということを説明するつもりではございませんので、
1:39:18	またその辺りトータルを見てですね、
1:39:20	室内の方で説明させていただきますので、すいません誤解を与えてしまいました、
1:39:26	そういうつもりであります。
1:39:27	津波堆積物の堆積物で、ちゃんと、
1:39:30	6000年前の地層で適用性を確認して今回実施させていただいたというものでございますので、
1:39:35	少しそのあたりを切り分けて、
1:39:38	ご審議いただければなと思いますのでよろしくお願いします。
1:39:43	きちりとして資料お願いいたします以上です。
1:40:00	これって、細かいことなんですけども、本編資料の40、
1:40:06	2ページ43ページ。
1:40:11	42ページか。杉山の年号が違ってるとやうなんで、修正だけお願いします。
1:40:23	中部電力西村でございます。
1:40:26	このページの上の四角の中で、198が、
1:40:33	正しいのでそこを修正させていただきます。
1:40:47	規制庁の認識ですけれども、
1:40:50	ちょっと、
1:40:51	確認させていただきたいのが市飯野、
1:40:56	市野飯野に、
1:40:58	3-2とかですね。
1:41:00	トナミの
1:41:02	海成歴を含む、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:04	から
1:41:06	ミウラということにしてることなんすけど、この海成力とした根拠ってどこか。
1:41:12	弘中れてないような気がしますけど、そもそもそれを海成とした判断のもと開架席ってのはちょっと、確かにいいかなと思うんですけども、この利益は
1:41:22	地質の方の議論もあったようになかなかい。
1:41:26	金引きか、河成できかという判断もあったりする、そこを急に、
1:41:30	前に出てるような感があったんですけどちょっとどこかその辺のエビデンスが示されてるんでちょっと教えていただきたいんです
1:41:41	はい。中部電力の久松です。すみませんこちら観察結果、
1:41:48	観察結果でも
1:41:51	判断しているところ。
1:41:53	がありまして礫州だとか、あと形状を見て判断しております。
1:42:00	一時的なデータでもそうっておりますので、判断していたんですが、
1:42:05	形状だとか、あと礫州だとか、しっかり、今回そういった説明をここに資料入ってませんので、
1:42:13	排水力と判断した根拠につきましては、資料をちょっと加えさせていただきたいと思います。以上です。
1:42:23	議長ニシキです。敷地の方でも先ほどから、
1:42:27	そちらもご認識のように津波対策、敷地内の津波、イベント堆積物についてはちょっと関係せよという話なんで、その辺りデータがそろってる方がわかりやすくなりますのでその辺の観点でまた整理をお願いできればと思います。
1:42:47	自分で抜くニシムラです。はい、そのように修正いたします。
1:43:07	すみません規制庁のミチグチです。補足説明資料の方でちょっと教えていただきたいんですけれども 152 ページの方で、
1:43:15	先ほど佐口の方からもあったんです、コメントだったと思うんですけど、今回CT画像とかも載せているって話なんですけど、
1:43:24	真ん中のがCT画像ってということでよろしいんですね。
1:43:29	中部電力西村です。はい。その通りでございます。今回のCT画像とかで層相の確認とかも行っているというようなコメントがあったと思うんですけれども、
1:43:39	やはり何かちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:43:40	せっかくCTが取られたと思うんですけど、
1:43:43	あんまり何かその区別というか、
1:43:45	あと、
1:43:47	多分敷地9と敷地15とかで、
1:43:50	粒度の比較っていうふうな、
1:43:53	ものにも使われてると思うんですけど、
1:43:56	ちょっと図が小さい成果もあるのかもしれないんですが、ちょっと、
1:44:02	あまり違いがやっぱよく見えないかなって思うところなんですけれどもいかがでしょうか。
1:44:09	中部電力西村でございます。今、敷地9と15の違いでよろしいでしょうか。
1:44:15	例えば、
1:44:17	敷地9054とか、
1:44:19	説明を見ると、
1:44:21	CT画像解析が観察によってみたいな感じで、
1:44:27	そうですね。
1:44:28	P9がれき質に見えるけれども、すいません、14とか18が静清糖質に見えているとか、
1:44:34	あるんですが、
1:44:36	何か、
1:44:38	ちょっと色かのっぺりとしてあんまりその違いがやはりよくわからないなってちょっと思ったんですけれども、何かもっと、
1:44:44	解像度の良い写真は、があるという、そういう観察ができる。
1:44:48	写真はあるというような認識でよろしいでしょうか。
1:44:58	中部電力西村でございます。
1:45:00	今回、この連続性の資料につきましては、一連で見た方がいいということでこのサイズでお示ししており、おりますが、このサイズだと少し見にくいというところが、
1:45:12	あるかと思imasので、重要な、似てるように見えるところにつきましては、もう少し拡大の図を用いまして、その違いがわかるようなご説明とさせていただきますと思います。
1:45:24	はい、ありがとうございます。
1:45:26	ちょっともう1点だけ、今回その帯磁率についても測定されてると思うんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:34	津波堆積物の評価のところで、あまり触れられていないようなところがあるかなあと思うんですが、
1:45:41	すみません、ちょっと教えていただきたいのはもしこれが津波堆積物だった場合、帯磁率は、
1:45:48	周りの上の平常時堆積物とかと比較して、
1:45:53	データは本当は大きくなるとか、小さくなるとかそういう違いが、
1:45:58	見えるかなっていうのを想定されて行ったんでしょうか。
1:46:04	中部電力西浦でございます。はい。今おっしゃられたように、
1:46:09	イベント堆積、津波堆積物ですと、
1:46:11	海側からコース等を持っていき、
1:46:15	持ってくるので平常時の堆積物と比べて帯磁率が大きく反応するかなということ、今回調査してございますが、
1:46:23	結果を見ていただく通り、
1:46:26	ほとんど何も変化が見られないというふうに帯磁率の結果からは、あちなっているといったところで、ちょっと、
1:46:33	説明の中では触れておりませんがそのことについても少し記載をさせていただければと思います。
1:46:42	わかりました。すみませんお願いいたします。私からは以上です。
1:48:24	規制庁のニシキです。
1:48:26	それでは一旦この、ちょっと最後思い出してコメントをさしていただくことがあるかもしれませんけどもう1件
1:48:34	品品質確認の方もありますので、
1:48:39	そちらの方に説明を移っていただいてもよろしいでしょうか。
1:48:46	中部電力浜野でございます。
1:48:48	ちょっと今、メンバー少し変更しますんで、すぐ呼んできます。少々お待ちいただけますでしょうか。
1:48:58	はい、それでは準備の方お願いいたします
1:49:43	中部電力浜野でございます。
1:49:46	すみません。
1:49:47	大体そろいましたので、説明の方、
1:49:50	5分ほどかと思いますが、まず説明をさせていただきたいと思います。
1:49:56	よろしいでしょうか。
1:50:01	はい規制庁ニシキです。それでは説明の方をお願いいたします。
1:50:06	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:07	中部電力浜野でございます。審査資料の品質確認についてで、前回3月7日の地震動のヒアリングにおいてご説明させていただきました。
1:50:21	中で一部、ご指摘いただいたことと、去る3月18日の1035回の審査会合においてもコメントいただきましたこれも、
1:50:31	反映した形で資料を整理してございます。
1:50:35	今日、お手持ちの方に、コメント一覧表というのを別紙でつけさせていただいております。このページをまず追加しました。
1:50:45	上から第992回の審査会合によるご指摘事項ということで、過去に作成した資料の確認を含め品質保証管理体制をしっかりと構築して、
1:50:56	QMSの観点で品質が担保された資料をきちんと出すような体制構築をしっかりと行うことと。
1:51:02	いうコメントをいただきました。二つ目が、1035回のご指摘事項ということで、
1:51:10	時価強度で記載すべき数値に関する単位の。
1:51:14	認識ミスに伴う対応間違い。
1:51:17	間違った情報で考察、単なる誤記ではないについても合わせて品質管理体制の中で説明を行うことと。
1:51:23	いう2点と、
1:51:26	コメントを記載させていただきました。
1:51:28	でも千野資料で2ページから資料になっております2ページは、2018年6月に、の時点におきまして、このときは、
1:51:39	特に
1:51:41	エビデンスが、
1:51:42	不足しているという、なかなか我々が提出した紙資料の中のエビデンスがなくて、
1:51:50	技術的に正しいものかというの、わかりにくいというご指摘を受けまして2018年6月に、体制をしっかりと構築してございます。右にある、
1:52:02	形で、特に技術的に経験豊富な新居が専門家によって、審査に必要なエビデンスの
1:52:09	掲載有無なんかもチェックするという体制を加えてございます。
1:52:15	こちらのページは特に資料としては修正してございません。
1:52:19	お手持ち、めくっていただいて、3ページからが説明済みで、緑の文字のところを追記修正させていただきました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:31	一番箱書き冒頭ですが、2018年6月、先ほどもご説明した、品質確認体制を改善した6月以降、2018年8月3日の第608回審査会合にて委託先の採用式、
1:52:47	間違いによる光
1:52:49	ルミネッセンスの、年代測定における補正年代値の誤りについて報告を行うとともに、
1:52:56	敷地の地質地質構造のうち1断層系の1の最新化を進める過程において、
1:53:02	2018年4月6日、第563回の審査会合で提示してございました柱状図の記載間違いを発見いたしましてこれを2019年12月20日の第817回審査会合にて、
1:53:17	原因と今後の対応、これは先ほどご説明した改善後の体制による加工資料をチェックしているという中で、実
1:53:26	見つかってますねこの体制でしっかり書く部分も含めてチェックしますというところ。
1:53:32	を、及び最終評価結果について報告を行いました。
1:53:36	また、新たな品質管理体制今申し上げた体制のもと確保資料について確認をまた進めている中で、2016年1月8日の、
1:53:46	反射法探査の速度断面と進藤ダムの播磨違いっていうのを発見しまして2020年7月の
1:53:54	審査会合で修正結果を報告しました。
1:53:58	このデータの貼り間違いの原因究明を行ったところ右の絵にある通り解析途中のデータと最終のデータが同じ保存先で混在しているというところで、
1:54:09	確認不足による播磨違いが生じたということを確認いたしました。
1:54:15	今後の対策としては解析途中のデータと最終的に審査資料に掲載するデータの保存先を事前に分けることであり間違いを防止すると。
1:54:24	いうことを、Aとしました。加えてQMSに基づき同士の間違いが、
1:54:29	基準地震動や基準津波の過去の資料にもないから水平展開して並行して確認するというを進めた結果、地震動の方でも同種の張り間違いということがありましたのでこちらも、
1:54:42	下にある通り、2020年7月と2021年7月16日に報告審査会合にて報告をさせていただいたと。
1:54:51	ということでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:56	手持ち 4 ページだと思いますが、
1:54:58	今回第 1035 回で、ご指摘いただきました、記載すべき数値に関する単位の認識無線に伴う対応間違い、これについても、
1:55:09	QMS体制の中でしっかりと確認をしました。
1:55:14	もともと 2019 年 4 月 12 日の第 704 回審査会合で、BF4BF1、比木 2 の 3 地点の古地磁気を用いて残留時価方向が同一であるという説明を、
1:55:27	対比した資料について、
1:55:31	先般の 3 月 18 日の 1035 回審査会合の資料提出前に、比企仁木線の時価強度の単位が本来は、キロアンペアスパーメーターであるべきところアンペアメーターと、脱字があるということを発見して報告を行いました。
1:55:47	これ自体は三種の残留時間、
1:55:50	解析結果に大きな差がなく同等であるという御説明自体には影響がない。
1:55:55	ただ、当該データに関しまして、2019 年 3 月 12 日のヒアリングで、比木 2 地点のみが他の BF4BF1 の 2 地点に比べて、
1:56:06	10 のマイナス 3 乗程度小さい値であることについて事実確認があったんですが、その中で比木 2 地点をやや場所が離れており、自生鉱物が少ないと思われることから、
1:56:18	データが異なるのではないかと回答していたと。
1:56:22	ということですこの対応が、特にその
1:56:25	単なる誤字脱字ではなくて、対応が間違いであろうということをご指摘いただいたと認識しております。
1:56:32	原因究明を行いましたところ、一次データからの転記ミスであるというのは事実なんです、
1:56:39	時価強度が非常に微弱であり科学的技術的に、今回の差ってのは発生し得る範囲であるというふうに考えていたことから一次データに立ち返ることをせずに、
1:56:50	判断をしていたことが判明いたしました。
1:56:53	また現状の 9m体制において、科学的技術的に間違いのない審査資料作成のために、データの転記は細心の注意を払ってきた。
1:57:03	つもりなんです、異なる地点の比較は、この BF
1:57:08	1 地点だけが、別のファイルになってまして田井の転記ミスが発生しやすいということが判明しました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:15	ということで複数のデータを比較する際にはデータの値に対して単位も合わせて並べて確認すること。
1:57:21	また、疑義を感じた場合には科学的技術的にあり得る範囲であっても元データに立ち返って確認するということをCR登録した上で、是正措置計画として他立案しまして作成承認。
1:57:34	プロセスに反映を今行っているところでございます。
1:57:38	下に記載してある通りで一番右のところは、
1:57:44	キロアンペアであったところを、それを抜いたまま、マイナス6乗と書いてあったと、というのが間違いでございました。
1:57:54	5ページですが、これらを踏まえまして今の品質保証体制をQMSの観点で記載させていただいております。
1:58:03	もともと、データの張り間違いというところも含めて2020年7月時点でQMS上の是正処置登録を行っていなかったことから、今回、改めてCR登録し是正処置プロセス2課へ管理することとしました。
1:58:18	今後審査資料のまとめの段階に入っていくことから都度の品質をしっかりと確認しつつ、是正措置が必要な場合はしっかりとPDCAをまわしていくことで、
1:58:27	科学的技術的内容に間違いのない審査会合の資料の作成に努めて参りたいというふうに考えております。
1:58:35	特に、先ほどの対応間違いのところ、
1:58:40	についても、このフローの中に入れておましてセルフチェックの中で、評価結果単位も含めてしっかり、
1:58:47	確認するというところを、
1:58:51	是正処置として、加えてございます。
1:58:54	いずれにしましても、この審査作成承認プロセスフローで実施しながら、科学的技術的内容に間違いがあって是正処置が必要となった場合は右側の是正処置プロセス、
1:59:07	において、CR登録をして、是正処置計画立案した上で、その処理を実施していくということを、しっかりと進めて参りたいと思っております。
1:59:21	最後、まとめの部分ですがこちらを緑の字のところを追記させており、いただいております、
1:59:27	2020年7月のデータ張り間違い事象、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:31	について改めて発生事象原因究明対策について確認を行った結果、過去の資料に対する確認も含めた、
1:59:39	是正処置を実施しており審査会合の資料の品質が確保されているということは確認しました一方で、この貼り間違いに係るCR登録を行っていなかったことから改めてCR登録し、
1:59:50	自生種是正処置プロセスにて管理することといたしました。
1:59:55	これらのことから今十分な品質保証体制が構築されているものと考えております。
2:00:00	なお、先ほどご説明した、2019年に提出したデータの記載すべき数値に関する単位の認識ミスに伴う対応間違いについて3月、今年の3月に報告した件もCR登録をした上で、
2:00:14	是正処置計画を立案し作成承認プロセスに反映を今行っているところでございます。
2:00:20	今後資料、
2:00:22	審査資料のまとめの段階に入っていくことから是正処置が必要な場合はしっかりPDCAをまわして、継続的に改善していくことで、科学的技術的内容に間違いのない審査会合資料の作成に努めて参りたいと。
2:00:35	思います。ということで、全般、緑のところを修正させていただいたのと、コメント一覧を足した、
2:00:44	こと、あわせて
2:00:48	先般の記載すべき数値に関するTHAIの認識ミスに伴う対応間違いのページを追加させていただきました。
2:00:55	説明は以上になります。
2:01:01	規制庁ニシキです。ご説明ありがとうございました。
2:01:06	院長側から、
2:01:11	とすることはございます。
2:01:19	規制庁サグチですけど、
2:01:21	ちょっと事実確認だけもう1回さしてください。今回、5ページ。
2:01:28	前回の3月の会合を踏まえて追加されたんですけど、
2:01:38	一番最初と、
2:01:42	違う。
2:01:44	2番目か2番目なんですけど、
2:01:49	これ3月12日のヒアリングで、
2:01:52	日にち点だけちょっと小さいよねというのは、確かに確認を

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:58	させていただいたんで
2:01:59	けど、
2:02:01	その後ですね。
2:02:02	要は、
2:02:04	前回の会合の直前の資料提出で、
2:02:08	何かこれが発見された。
2:02:11	理由というのはどう。
2:02:13	みたいな追ってひょっとしてその前の、
2:02:15	ヒアリングでも我々、ちょっと何かやっぱりおかしいくないすかねみた いな。
2:02:21	なんかそんな確認って、してなかったでしょ
2:02:30	中部電力大南です。衛藤。
2:02:33	今回この対ミスに気づいたというところもその前のヒアリングの中で、 胎児トクチのですね方位とかそういったあたりで、方位が若干違うよね とかそういったところで、
2:02:46	これどう考えますかとかいろいろそういったご指摘があったと。
2:02:49	そういったものもございまして、再度もう一度、報告書そのものに戻り まして報告書にどういった記載がされているかとか、そういったところ までの確認を戻ったという事実がございましてその中で、
2:03:00	少し単位のところでっていうところで、これを築いたという、そういつ た流れになってございます。
2:03:10	はい。佐口です規制庁サグチですけども。わかりました。わかりました というか、
2:03:16	多分何から何かすごく今の、
2:03:19	記載だと、
2:03:23	2年、2年、2年以上、
2:03:26	2年、3年、
2:03:28	違うな。
2:03:30	3年ですね、3年ぐらいほったらかされていたっていうのも、
2:03:34	何か耳見えちゃうので、
2:03:38	そういう、
2:03:39	もうちょっと経緯、最近の経緯も含めてです。
2:03:44	当然これ、ヒアリングで、
2:03:46	2019年もそうですし、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:03:50	つい最近の、
2:03:52	今年に入ってからヒアリングも多分層相なので、
2:03:56	今年のヒアリングは、少なくともこの
2:03:59	残留時期、共同
2:04:02	自家強度。
2:04:03	については言っていないかもしれませんが少なくとも関連して、
2:04:07	何かそういうコメントに対してもうちょっとこう精査したらちょっと見 つかっちゃいましたよみたいなそういう、
2:04:13	ちゃんとした経緯をもう少し変えていただければと思います。
2:04:20	中部電力天野でございます。承知しました。ありがとうございます。も う少し金まで、
2:04:26	しっかり
2:04:28	事実確認いただく中で、
2:04:30	我々もしっかりチェックしたということが読めるようにしたいと思いま す。
2:04:36	はい。規制庁サグチですねよろしくお願いしますそれと、
2:04:41	これは何か言葉じりをつかまえるようでも申しわけない。
2:04:45	ですがちょっとよくわからなかったので、
2:04:49	同じような、
2:04:51	四つ目の四角ですね、最後のところに、また以降で疑義を感じた場合に はってあるんですけど、
2:04:58	これ、
2:05:00	誰が対象になるんですかね。
2:05:02	ていう、誰がその疑義を感じたら。
2:05:07	こういう、
2:05:08	ことをするみたいな。
2:05:10	それちょっと教えてください。
2:05:13	はい。中部電力浜野でございます。6 ページで、今、改装分でチェック をしてますのでまず当然資料作ったセルフチェックの人間が疑義を感じ れば一次データに戻りますし、
2:05:26	技術的に経験豊富なライン外専門家が、
2:05:30	これってちょっと違うんじゃないのというようなことに疑義があればま た戻るという意味で、書いてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:44	はい、佐口ですわかりました。なのでこのいわゆるそのラインの中で、ちょっとおかしいんじゃないのっていうふうに感じたら元データに立ち返って確認しますと、そういう
2:05:56	ご説明だったので、そこはちょっとわかりました。
2:05:59	あと、
2:06:00	ごめんなさい。
2:06:01	そのすぐ下の赤の四角で、
2:06:04	書かれている 2020 年 33 月 18 日の時か共同の。
2:06:09	単位を正確にするため、
2:06:12	黄色、
2:06:13	黄色でいいんですよね、キロを足す。
2:06:15	って書いてあんですけど。
2:06:18	来庫例の意味がちょっとよくわからないんで、いやし資料上は当然その、
2:06:25	機能別に足されてるわけじゃない、なくて、何かそれは何か。
2:06:30	そう、資料化する過程の、
2:06:33	話だけだと思うんですけど、何かこの辺がちょっとこれ表現がわかりにくいですねキロを足さなければいけないからキロを足すと、
2:06:43	元が 10 のマイナス 6 乗だったので、両方相殺して今このグラフ表に書いてあるマイナス 3 乗にしたっていうことを言いたかったんですけどちょっとわかりにくいね。
2:06:56	もう少しわかる表現にし、します。
2:06:59	要は線++と単位にセンターしたんで、
2:07:03	数字泥層-63 条にしましたっていうことを、
2:07:07	開きたかったというところです。
2:07:10	はい。西内です。実際は当然そうなんでしょうけど、結局、黄色の六条からキロじゃなくしたっていう。
2:07:21	だけの話ですよ。要は 1000 倍すればいいだけ。
2:07:24	ていうことがいらっしゃると思うんですけど、ちょっと何かここはよくわからなかったんで、特に要るのかなとは思うんですけどね。あくまでも単位を統一したというだけですよね、正直言うと。
2:07:40	はい。中部電力天野でございます。承知しました。ちょっとそこがわかりやすく、
2:07:46	修正させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:51	安全規制調整官の名倉です。
2:08:54	4月1日から、こちらの方の地震津波側のチームをナイトウさんに引き継いでみることになりました。
2:09:02	今日ヒアリングを始めて、中部電力さんのヒアリング出たんですけども、
2:09:09	私からちょっとやっぱり感じたのは、
2:09:12	私自身が、10年間、
2:09:16	地震津波側の審査をしていないからこの資料を読むのにすごく時間がかかって、
2:09:21	わかり、自分自身が理解できないのかなと。
2:09:26	思ったところはあったんですけどもやっぱりうちのサグチの指摘とか、
2:09:30	同感であって、
2:09:33	この資料を素直に読んでいただけでは、
2:09:36	中部電力さんのその結論に行くところのデータの整合性とか、
2:09:42	それからあと、
2:09:43	説明してる内容と図表が本当に一致してるのかどうかとか、
2:09:48	そういうところ細かいところを見ていくとですね、非常に、
2:09:51	段階でですね何回というか読みとかなくちゃいけない部分が結構あって、
2:09:56	この資料って本当に、担当者は理解してるんだけど、例えば御社の、
2:10:02	ちょっと分野外れたところの人がこれ見て、中身を理解できるんだろうか。
2:10:07	こちらが質問したときに、久野ヒサマツさんとかいろいろ答えられたんだけど、
2:10:13	そういったことが他の人にもちゃんと理解できて答えられるんだろうかとか、ちょっとそういうところが非常に疑問に思うところがありました。これ施設側の設工認の審査で、
2:10:24	よく事業者の方に言ってるんですが、
2:10:27	トレーサビリティ
2:10:30	読んで本当に、事業者の説明してるのが本当に資料だけでわかるんですか。
2:10:36	それから根拠とか論理とかちゃんと明示されていますか。
2:10:39	もうこれしつこくしつこく何回も何回も言うわけですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:43	これは工認だけではなくて、設置変更許可とかでもかかる審査でもやっぱり同じなんだなという気がしました。
2:10:52	そういう意味で、
2:10:57	今回のミスの方に
2:10:59	対しても、
2:11:00	少しセルフチェックをする、プロセスをふやしましたと言ってるんですけど、
2:11:07	そういったところも含めてですね、
2:11:10	資料の説明性の向上、トレーサビリティの確保という観点でも、品証と同じようにチェックをちゃんとしていただいて、
2:11:21	責任を持って出していただきたいと思います。
2:11:24	ちょっと今回の資料は、すいません私自身が何回過ぎたのか、あれですけど、読めませんでした。正直言って、
2:11:32	そういう意味でちょっと、
2:11:33	内部でちゃんとチェックをして、資料を出していただくと、より規制側も理解する事業者が言ってることを理解するということに対して、より効率的に理解できると思いますので、
2:11:46	そういったところの取り組みをちょっと強化していただきたいと思います。
2:11:50	私からは以上です。
2:11:54	中部電力の竹山でございます。
2:11:57	今名倉さんがおっしゃってくれたところを、ちょっと今今回おしかりを受けてますけれど、そういう面もありまして、今ここに私が座ってるのは、
2:12:09	まさに名倉さんがご指摘してるようなところがありまして、
2:12:16	最初の大湾夏生さんからもですね、
2:12:20	ロジックだとか全体の繋がりが中部電力あんまりよくないよねっていうところがあったものですから、2年ぐらい前から私も次回に、
2:12:31	こういう形で入らせていただいて、
2:12:33	資料を最初から作り込むところを含めてできるだけ、ロジックを含めて見るようにさせていただいています。
2:12:43	そういう意味で今回もしっかり見ているつもりはあるんですけど、少しやはりちょっと今回のものについては、若干言い訳します特殊性もあるのかなっていうところで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:55	もともとあるボーリングのコアだったり、柱状図だったり、
2:13:01	下部ホールディングもともと測ってる部分について、追加してこうやってる部分があったものですから、
2:13:08	途中でアマノ方から説明も、
2:13:11	しましたように中にこう溶け込まして刊本版みたいにするのか。
2:13:16	後で今回追加したものをだけを
2:13:21	クローズアップしてやった方がいいのかってところも議論した上で、
2:13:25	以前中出登紀子でしたらわかりにくいっておしかりを受けたことがあるもんですから、ちょっと複雑なので新たに追加したものをメインに、ちょっとコメント回答何でやろうかって議論をして、作らせていただきました。
2:13:38	その関係でこういうおっしゃられてみると、
2:13:41	全体の中で見にくいなというところも痛感しましたのでまた
2:13:45	そういう意味では頑張ってるので、私、伊井の方からも、
2:13:50	何度も何度も新しい視点で、今後もコメントしていきたいと思ってます。以上です。
2:14:01	規制庁の名倉です。
2:14:05	竹山さんおっしゃったところ通りで、
2:14:07	これ非常に特殊な分野のコメント回答でかなり特化した内容ですので専門性に、
2:14:13	そういう意味で、
2:14:16	分野の分野外の方が、統括的に入ってこれをコントロールしようとしてもそれは無理でしょう。
2:14:24	私が申したのはその分野内ですね、
2:14:29	例えばもっと若い人が
2:14:31	ですね、
2:14:32	そういった人が見たときに本当にわかるんだろうとか、
2:14:36	そういうところのチェックとかもしようがあるんじゃないかなということでそこはよく考えていただきたいと思います。
2:14:42	以上です。わかっています。逆に言うと、
2:14:47	今久松が答えたり、西村が答えたレベル。
2:14:53	もう、ある程度私が答えるぐらいしっかり見込んではいらっしゃるんですけど、今回はちょっとこう、
2:14:59	整理の仕方が、少し

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:03	5、
2:15:04	おしかりを受けた点で少し配慮が足りなかったかなと思ってますので少し、反省してまとめていきたいと思ってます。
2:15:15	中部電力の仲川でございます。この分野を取りまとめている統括者としてですね、私も
2:15:24	できるだけ、今名倉さんが指摘をいただいたような視点をですね持って、なるだけわかりにくいところはわかりやすいようにという観点で読んでいるつもりではあるんですが、
2:15:36	だんだんこう、自分自身がこうちょっと深掘りをしてしまうような感じですね、
2:15:43	ちょっと視点がですね、みんなと一緒にですね細かいところの、やっぱりミスがないとかとかってそういう観点にちょっと、
2:15:53	行きがちになってしまったところがあるので、そこら辺はもう少し、やはり、全体ですね、わかるような資料になってるかっていう、そういう視点でですね。
2:16:04	しっかりチェックをしたいと思いますので、今後ともよろしくお願いたします。
2:16:14	規制庁佐口ですちょっと最後に私の方から一応誤解がないようにだけ申し上げておきたいんですけど。
2:16:20	何も、今回とけこむ市がいいとか、ピックアップしたものがいいとかってそういうことを言ってるわけじゃなくて、御社はあくまでも今回新しい評価を持ってきて、それを、
2:16:33	これまでのものに付け加えるのか、今回の新しい調査も踏まえた上で、
2:16:40	説明するのかってそこに結局かかっているんですよ。
2:16:44	だから、単純にコメント回答というものに特化すれば、むしろ今回の追加で調査をしたことは、最後に持ってくるんじゃなくて最初に、
2:16:54	多分敷地内のときそうでしたよね、最初にまずこういう追加調査をしました。その結果こうなりましたというコメントかいうところに特化したものを、
2:17:04	まず、
2:17:05	そういうものがあるべきで、そのあと例えば全体を通して、それらを踏まえてこういう評価の1年の中で、どういうものがあるべきなのかなともコメント回答に特化されるのであればですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:17	そうじゃなくって、一連の溶け込みという話でしたら、これを今回追加はこういうところはしましたけど、それも踏まえて、
2:17:28	ちゃんと流れを全体の流れを、
2:17:30	わかるような形でまとめていただきたい、いただきたいですし、まだちょっとそういう最後のまとめ段階っていう、
2:17:39	まだそんな、ひょっとすると段階じゃないかもしれないので、
2:17:44	ちょっとその辺りを踏まえてですね、もう1回、資料構成。
2:17:48	御社が何をやってどういうことを言いたいのかっていうのをきちんとわかるような形で、
2:17:53	いずれにしても示していただきたいと思います。
2:17:56	よろしくお願いします。
2:18:00	中部電力の仲村です。承知いたしました。そういう観点で、再度資料全体を見直してみます。
2:18:54	規制庁ニシキです。
2:18:57	ちょうど二つの資料の確認については以上。
2:19:01	させていただきます。
2:19:03	それですね品質保証の
2:19:07	品質管理の方の話ですけれども、
2:19:10	一応これについてはですね、4月の15日、
2:19:16	ものですね。
2:19:17	進藤の審査会合のところに合わせて行うという予定で今のところおりますので、
2:19:25	こちらからまた準備と、決まりましたらまたご連絡の方を差し上げます。
2:19:30	そして津波堆積物の方については今日、いろいろちょっとコメント、
2:19:35	確認させていただいたところを、またちょっと整理いただいて、準備委員会でき次第また
2:19:41	ヒアリングの方、申し込んでいただければと思いますので、よろしくお願いいたします
2:19:47	中部電力浜野でございます。承知いたしました。
2:19:58	はい。規制庁ニシキです。浅井。中部電力の方から特に
2:20:04	何かなければ、これでヒアリングの方は終わりたいと思いますが、いかがですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:11	中部電力浜野でございます。はい。こちらとしては、今日ご確認いただいた内容をしっかり修正して、迅速に、またヒアリング申し込みたいと思います。
2:20:20	よろしくお願いいたします。
2:20:25	規制庁ニシキです。
2:20:26	それでは本日のヒアリングの方を終了したいと思います。
2:20:30	お疲れ様でした。
2:20:32	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。